

— 地域社会に輪を拡げる —

来友館20年の歩み

軽費老人ホーム

来友館



平成5年5月（1993）

— 地域社会に輪を拡げる —

来友館創立 20 年の歩み



も く じ

役員・評議員・職員名	2
満20周年を迎えて 理事長 西 座 正 蔵	3
開館20周年を迎えて 施設長 西 座 新 二	4
お祝いのことば 泉佐野市長 向 江 昇	5
お祝いのことば 大阪府福祉部長 高 田 典 晃	6
お祝いのことば 泉佐野市社会福祉協議会長 髭 野 幸太郎	7
お祝いのことば 前大阪府議会議員 植 野 一	8
お祝いのことば 受念館理事長 岸 上 正 暢	9
20周年を振り返りて 専務理事 西 座 フ デ	10
来友館の歌「来たれや友よ」 作詞 奈 良 吉太郎	
作曲 中 川 国 生	11~12
開館20周年に思う 職員 吉田 基幸、日根ノ谷正仁	13
職員 安田 幸代、竹澤 充子	14
職員 池浦 憲子、俵積田トシ子	14~15
職員 柿元キミ子、地崎 洋子	16
職員 根来ユリ子	17
友情 元入居者 荘司 永	17
開館20周年を迎えて 入居者 近藤 妙子、三好 綾子、西道 笑子	18
入居者 松田ますゑ、羽原ミサヲ	19
入居者 水野 千代、柏迫サチエ	20
入居者座談会 北條ツルエ、田中 八重、今村 君子	21
中田 淑子、大家やす子、近藤 妙子	22
配食事業・利用者からのお便り	23~24
給食事業・利用者との会話	25~26
民 謡 ク ラ ブ	27
踊 り ク ラ ブ	28
園 芸 ク ラ ブ	29
書 道 ク ラ ブ	30
俳 句 ク ラ ブ	31
歌 を 楽 し む 会	32
10~20年の歩み	33~66
来友館ご案内	67~69
来友館の庭	70
開館20周年記念式典	71~72
関西国際空港	73
来友館の概要	74
泉佐野マップ	75~76

役員

理事長	西座正蔵	理事	杉岡茂
施設長	西座新二		森修
専務理事	西座フデ		山崎市太郎
理事	岸上正暢		廣岡康平
	植野一		南川昌良
	鷗美枝子		田中隆英
	菊川順二		

社会福祉法人「来友会」評議員

武井澄子	田中重子	今野巖
船倉之生	小川小留	菊地峰吉
吉田順三郎	奥野清兵衛	向井輝雄
道古美智子	三好美智子	冠義雄
髭野武史	(理事は全員評議員を兼ねる)	

職員

西座フデ(寮母)	地崎洋子(寮母)
俵積田トシ子(調理士)	根来ユリ子(調理士)
池浦憲子(主任寮母)	竹澤充子(栄養士)
安田幸代(事務員)	本宮みち代(看護婦)
吉田基幸(事務長)	室井康代(調理員)
柿元キミ子(寮母)	榎本イツミ(調理事)
日根ノ谷正仁(指導員)	



理事長あいさつ

満20周年を迎えて



理事長 西 座 正 蔵

月日の過ぎるのは早いもので来友館も満20才となりました。昭和47年7月12日に厚生省から社会福祉法人認可の内示があり、同20日に私宅で第一回ホーム発起人会を開催しました。その年の10月9日に地鎮祭を春日神社宮司により挙行し建設に着手しましたが、12月に石油ショックが起り、建設資材の不足と高騰で工事が進行しませんでした。

大阪府庁の施設課に工事完成の延期を申し出ましたが、絶対延期は認めないし、工事が遅れた場合は補助金を取り消すといわれ困ってしまいました。そこに府関係市町村の学校建築も延期願いが多数出て来たことから、来友館も5月末までに完成するよう指示されて助かりました。

開設当時は事務費補助金が1人当たり1万9000円で、入居者は1万3600円で6月入居は6人でした。これでは職員の給料どころか食費代、光熱費も支払いかね、そのうえ補助金は6カ月分後払いで立替えしなければなりません。

調理の職員で家業が持船の漁師の奥さんが、水揚げの魚を原価以下で持参され調理して食事代の援助、また窓や食堂のカーテン等は問屋から布を仕入れ、職員の協力で全部仕上げました。

その後軽費の分科会が設立され大阪府副知事に、補助金の支出について数人で直訴に行き、補助金が2カ月分ごと前払いとなり大変助かりました。また大阪府社協事務局の努力で給与の外に調整手当が付き、職員の給与も改善されました。

残念なのは先の10周年記念事業でリハビリテーション施設・多目的ホールの建設を計画し、補助金と自己資金の見通しもでき、認可もおりて6月1日着工で年内完成の予定でしたが、隣接民家裏口の出入りが不便になるという理由で反対され、その計画が中止となったことを非常に残念に思っています。

開館20周年を迎えて



施設長 西 座 新 二

昭和48年5月28日、この地泉佐野市に軽費老人ホームとして開館以来、はや20才の誕生日を迎えることとなりました。人間でいえば、やっと成人式を迎えた年令となったわけです。

しかしながら、10年一昔どころか最近是一年一昔といわれ、時代の変化はあまりにも早く、これに対応する人間がなかなか時代について行けないのが実情です。当然老人福祉施設を取り巻く環境も大きく変化し、開館当時は施設福祉が老人福祉の中心でありましたが、現在は在宅福祉が老人福祉の中心へと変化してきております。

在宅介護の主なものの特養のショート、ミドルスティ、デイサービス、ホームヘルプサービス、訪問看護サービス等が、いま脚光を浴びてたくさん整備されております。しかしながら、来友会-来友館のように1施設、1法人の軽費老人ホームでは、上記の事業に参画することはほとんど不可能といえます。

われわれは来友館を少しでも地域の人びとに開かれた施設にすべく、知恵を絞って努力して来ましたが、近隣の独居老人に給食を行うのがやっとでした。今後來友館が地域のために何が出来るかを考えるに当たって、もっと従来の殻を破ってみる必要があるのではないかと考えております。

また、軽費老人ホーム自体が厚生省によって大きく変化させられており、来友館のようなA型施設はなくなり、すべてC型（ケアハウス）へと変わって行くことが決まっております。これから10年先の開館30周年になったとき、来友館はどのように変わって行くのか、不安でもあり楽しみでもあります。今後とも、多くの皆様方のご協力、ご鞭撻をお願い致しますと共に、入居者、職員共ども、なお一層の努力をして行きたいと思っております。

お祝いのことば

福祉の充実に大きな貢献



泉佐野市長 向 江 昇

軽費老人ホーム「来友館」が創立20周年を迎えられ、誠にめでたうございます。

ちょうど20年前に貴館が竣工されましたときに、泉佐野市議会議長としてお祝いの言葉を申し上げましたのも、何か不思議なご縁と申し上げますか、感慨を新たにいたしている次第です。

さて、昨近は核家族化等による家庭環境の変化や、住宅事情などの社会情勢の変化により、ご家族と一緒に生活することが困難なお年寄りが多くなってまいりましたが、このような方々が軽費で明るく楽しい生活が送れるよう、心のやすらぎの場である居室や食事、その他身のまわりのお世話をするホームとしてオープンされました。

建設にあたり西座理事長は、お年寄りが変化に富んだ楽しい日々を過ごすには、ショッピングや散歩などが手軽に楽しめ、また地域社会と常にふれあえる環境で過されるべきだとのお考えで、自らの住居の敷地内に閑静なホームを建設されました。

爾来20年、理事長を中心として職員の皆様方の献身的なご努力により、入館されている方々も伸びのびと明るい雰囲気ですべてを過ごされています。日常生活の面におきましても新年会や旅行、誕生会など様々な催しを企画され、春日公園などの定期的な清掃奉仕活動により地域との交流を深めるなど、こまやかな配慮を心がけられていることに対し、衷心より敬意を表するものです。

このように貴館では、開館以来老人福祉の充実に大きな貢献を残されますとともに、施設の運営につきましても、ますます確充されていると聞き及んでいます。この栄えある20周年を契機とされまして、今後一層飛躍されますとともに、理事長はじめ職員皆様方のご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

お祝いのことば

地域に開かれた施設として



大阪府福祉部長 高田 典晃

軽費老人ホーム「来友館」が創立20周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

来友館におかれましては昭和48年5月吉日の創立以来、常に快適な生活の場づくりをめざされ、20年もの永きにわたり多くの皆様方に親しまれてまいりました。設立当初から来友館の発展に尽くしてこられました、西座館長さまはじめ職員皆様方のご努力、地元関係者の社会福祉に対するご理解、ご協力に対して心から敬意を表する次第です。

いまや、わが国は世界一の長寿国となりましたが、大阪府におきましても高齢者や障害者の方々が、住みなれた地域の中で温かい心のふれあいを通じて、健康で安心して暮らすことの出来る福祉社会を築いて行くことを、府政の最重要課題としております。とりわけ老人ホームが地域福祉の拠点として果たす役割りは、ますます重要になって参りますため、今後ともその整備充実に努めてまいりたいと考えています。

しかしながら、このような施策を推進して行くためには、行政ばかりでなく民間社会福祉関係者はじめ、府民の皆様方の幅広いご理解と、ご協力が必要であることは申しあげるまでもありません。職員の皆様方には創立20周年を契機に、これまで培ってこられました専門的な知識や技術を十二分に発揮され、本施設がさらに地域に開かれた施設となりますよう、より一層のご精励をお願いします。

また、入居されておられますお年寄りの皆様には、今後ともますますお元気に暮らして頂きますことを、心から願いたしますとともに、来友館の今後ますますのご発展と皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

お祝いのことば

給食事業に積極参加



泉佐野市社会福祉協議会長 髭野 幸太郎

軽費老人ホーム「来友館」が開館されて満20周年を迎えられ、記念誌を発刊されるに当たり心からお祝い申し上げます。

創設者の社会福祉法人「来友会」の理事長西座正蔵さんは、いち早く高令化社会の到来に着目され、老人福祉と地域福祉社会のために、社会福祉事業法に基づく福祉施設として、軽費老人ホーム来友館を設立されました。それから今日まで老人の福祉の増進に、たゆまないご尽力ご精進をされており、そのお人柄とご苦労に深く敬意を表するものです。

ことに、わが泉佐野市社会福祉協議会が府下に先がけて、昭和53年から実施しています「独り暮らし老人」に対する給食サービス事業につきましては、当初から積極的なご協力で調理部門を担当され、軽費老人ホーム本来の業務に加えて地域福祉のため、多忙にもかかわらず職員が一丸となって給食事業を推進されましたが、これも理事長はじめ役職員の福祉に対する多大な、ご理解の賜物と深く感謝しています。

さらに21世紀は高令化社会が深刻度を増し、施設福祉や在宅福祉の充実推進が大きな問題となりますため、われわれ福祉関係者の一層の努力と協力が強く求められると思います。どうか来友館におかれましても泉佐野市域の、総合的な老人福祉事業推進の先駆者として、より以上のご尽力を賜りますよう心からお願い申し上げるとともに、今後のご活躍に大きな期待を寄せております。

お祝いのことば

やすらぎの施設として



前大阪府議会議員 植野 一

老人福祉、地域福祉の先駆者として輝やかな実績と、信頼を積み重ねておられます軽費老人ホーム「来友館」の、創立20周年を心からお祝い申し上げます。

開館以来“お年寄りの憩いの館”として、“やすらぎの施設”として敬愛され、信頼の輪を拡げておられますが、これはひとえに西座理事長の老人福祉に対する熱意と深い識見の賜物であり、私も理事の一員として参画させて頂きながら、常に敬意を表しています。

ホームでは入居者の日々の生活を“より楽しく有意義”にするため、地域の皆さんやボランティアの方々のご協力をえながら、書道や俳句、手芸、園芸などのクラブ活動や勉強会、また演芸大会など諸々の行事、時には館外に出て花見物や小旅行、レクリエーションにつけても、西座理事長はじめ職員の皆さん、関係者のご苦勞に頭の下がる思いです。

いま、統計資料によると日本の高令化社会が21世紀に向かって、さらに深刻化することが予想されていますが、これらの問題はもはや部分的な対策だけでは解決できないため、社会構造全体の問題として認識し、これに対応することが肝要かと思えます。

創立20周年を迎えられた来友館の、今後一層のご活躍とご発展をお祈りして祝意といたします。

お祝いのことば

姉妹ホームとして



軽費老人ホーム「受念館」理事長 岸上正暢

創立満20周年を迎えられ、まことにめでたく心からお喜び申し上げます。私は来友館と同じ軽費老人ホーム「受念館」を経営し、当館とは深い関係にあります。

10年ひと昔と申しますが、ふた昔たつのですね。西座理事長ご夫妻には老人福祉の重要性を痛感され、寝食を忘れて24時間老人福祉のため、粉骨砕身ご尽力されました。その熱意と誠意、ご努力に対し深く敬意を表するものです。

平成2年5月に私は西座理事長ご夫妻と共に、スペイン旅行にお伴しました。そのとき理事長が発病され、それ以来健康には注意されています。幼なじみであり中学校以来65年来の友人として、心からご健勝を念じて止みません。

親孝行のご令息は、有名企業に勤められ重要ポストに執っておられたのですが、思いきって退職されて老人福祉の仕事に転向され、平成2年に施設長に就任して活躍されており、若いパワーを注入されて益ます辣腕を発揮されることを期待しています。

来年8月には泉佐野市沖に関西国際新空港が完成しますが、その新空港の夢にもならって来友館の前途は、他にも増して洋々たるものがあり、羨望の的になるものと思われまます。

しかし、なにぶんにもこの第1種社会事業に対しましては、皆様方の物心両面からの温かいご支援がないと維持が困難となります。どうか老人福祉の充実にご協力をお願いしまして、お祝いの言葉といたします。

開館20周年を迎えて

専務西座フデ

開館当時を振り返ってみますと入居の方達への処遇、またその中の食事については理事長はじめ職員一同が、手探りしながら一生懸命に頑張り、少しでも美味しい料理を食べて頂こうという思いで一杯でした。

開館満10周年記念祝賀会の入居者作品展には、絵画、書道、俳句、手織りマフラー、その他手芸品も多く出品されました。開館当時から入居の方も12名おられました。それから10年が経過した今日では5名となってしまいました。この10年の間に満90才のお祝いを泉佐野市役所から受けられた人は4名あり、平成3年には満100才のお祝いとして総理大臣から銀盃を、大阪府庁から人形を頂いたのは北条ツルエさんです。今も元気に階段をトントン昇り降りされています。

しかし、入居者の多くは次第に加齢化にともなう老化が進み、要介護のため職員の負担も重くなり、宿直時に職員の手をわずらわすこともあります。急速に高令化が進むなかの研修会でも、中間施設についての関心が高まっています。中間施設は後に老人保険施設となりましたが、これは病院と家庭との中間施設のことです。

また社会福祉法人でケアハウスも設立されるようになりました。これは入居者定員50名で施設長1名、調理員4名、指導員1名、寮母1名、栄養士1名の計8名で運営されます。入会金も必要とのことですが、これからは軽費老人ホームA型は作らないと聞きました。

地域社会と老人ホームの交流として始まった独居老人配食事業も、8月の夏休みと火曜日が祝日の日を除く、それ以外の毎週火曜日に昼食として約50名を対象に配食しています。昭和56年のお節句から始めましたが、毎年大晦日には午後2時までにお節料理を作り、キーステーションまで届けていますが、別に来友館の給食として附近の独居老人8～9人に、毎週木・土曜日に昼食を届けるとともに、給食センターに招待してスキヤキパーティーも開いています。

昭和59年から平成4年まで来友館の大改装を施しました。ホームビル表面部分のタイル貼替え、裏側の吹付け塗装、屋上の防水工事から地下貯水槽のコーティング、風呂場、浴槽の改装、玄関ドアの自動化、サンルーム改装、各居室のエアコン取付け、事務所、廊下張替え、食堂改装とシャンデリヤ取替えなどで、見違えるほど美しいホームとなりました。

来たれや友よ

(来友館の歌)

作詞 奈良 吉太良

作曲 中川 国生

1. 淡路ヶ島に 雲流れ
波路はるかに六甲の
山々望む この館
来れや友よ 来友館

2. 感謝に日々を暮しつつ
清く正しく 明るくて
一つ家族の この館
来れや友よ 来友館

3. 若きあの日を想いつつ
静かな明日を望みつつ
みんな仲良く この館
来れや友よ 来友館



来たれや友よ

(来友館の歌)

作詞 奈良吉太良

作曲 中川国生

The musical score is written for piano in 4/4 time, featuring a melody line and a piano accompaniment. The key signature has one flat (B-flat). The score is divided into five systems, each with a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are written in Japanese characters below the vocal line. The score includes various musical notations such as slurs, accents, and dynamic markings like 'p' and 'mf'. A handwritten 'melody' label is present above the first system, and a circled 'rit' marking is above the fifth system. The piano accompaniment consists of chords and moving lines in both hands.

1. あわ
じがしま くに くも - な が れ なみ
じはるか くに ろ - っこ う の やま
やまのぞ む こ の - や か た きた
れ や と も よ ら い ゆ う かん

開館20周年に思う

職員 吉田基幸

来友館創立以来満20年、83才で入居した北条ツルエさんも昨年10月28日に101才の誕生日を迎えました。1 今年の誕生日には内閣総理大臣からお祝いに銀盃が贈られましたが、来友館の20周年にあわせてますます元気ですし、開館当初から入居されている方も元気で頑張っています。20年間に職員も相当入れ替わりましたが開館当初からの職員も頑張っています。

開館に当っては全員が初めての経験のため、式典スケジュールや食事の献立にとまどい、各居室や食堂のカーテンまで縫ったという苦労話も聞きました。設立当初は皆さんの頑張りで「手作り」のホームが出来たのです。その手作りの温かさは今日も受け継がれ、素晴らしいチームワークを誇って、よりよいホームづくりに努めています。

開館当初から元気なのが庭の池の鯉です。当初は2匹だったものが毎年5月に産卵し、それがふ化して現在では200匹以上になりました。ホームの発展に合わせるように…。まだ私は10年ほどにしかありませんが、20年という一つの区切りを体験できて幸せに思うとともに、来友館の伝統を次の世代に引き継いで行けるよう頑張る所存です。

職員 日根ノ谷 正 仁

来友館が開館して20年の歳月が過ぎ去った。開設の準備から始まり、1年、5年、10年、そして今年で20年。この間には理事長、専務はじめ諸先輩の多大なご苦労があったことと思います。人でいえば成人の年に当たり人生の1つの区切りでもあります。勤務中にこの記念すべき式典を経験できることは喜びにたえません。

桃、栗3年、柿8年といいますが、私が来友館に勤めてどうにか柿が実るようになりました。味の方はシブ柿？、それとも甘柿？、どちらでしょうか。これからは毎年より良い果実が実るよう、一層努力して頑張らなくてはと心に誓っています。

自動車の運転からホーム行事の記念写真も引き受けていますが、皆さんの喜ぶ顔を見てやり甲斐のある仕事と思っています。人が一人前になるには一生かかるといわれるが、1日をしっかり生きることが一人前に育った条件と考えます。

開館20周年に思う

職員 安田 幸代

たった3カ月のアルバイトのつもりが、この5月で勤続11年になりました。開館10周年の時は20才代、20周年の今年は30才代になり、月日というものはこんなに速く駆けて行くものかと驚いています。

福祉という言葉も知らず、ただ事務の仕事をこなせばよいと考えていたので、勤務したての頃は外出から帰って来た入居者に、玄関で「お帰りなさい」という言葉がどうしても言えず、口ごもってばかり、この一言がすらすらと言えるようになるのに半年ほどかかったでしょうか。手とり足とりで教えられる事でもなく、計算すれば答えがでるものでもありません。

毎日の積み重ねが福祉の仕事であり、それが10年、20年の歩みになるのでしょう。入居者の北条さんが平成3年10月29日元気に満100才の誕生日を迎えられ、大変印象に残るとともにこの仕事に従事して良かったと思いました。本人の精進もさることながら来友館の「水」が合ったからではないでしょうか。1つ1つの実績を積み重ねて、それを来友館のあゆみとして受け継いで行くことが大切であり、職員としての仕事だと思っています。

職員 竹澤 充子

来友館に勤務して約2年経ちますが、これまでは仕事を覚えるのが精一杯で、あまり気持ちに余裕がありませんでした。最近ではどうすれば入居者の皆さんに喜んで頂けるか、どうすれば身心共に健康な状態で過して頂けるかを考えながら、仕事に取り組めるようになりました。

やっと栄養士として自信がついて来たとし、仕事に対する意欲も湧いて来て私自身も充実して来たと感じます。といっても、まだ皆様を指導できるほどの力もなく器でもありませんが、自分なりに美味しい味付けで楽しい食事をして頂けるよう、栄養バランスや味覚、彩りなどを考慮し、1つ1つ納得のいくものを作りあげて行きたいと思っています。

これからも元気と明るさを取り得に、時には入居者皆さんの孫になり、時にはお母さんになり、時には友達として話し相手になれる、そんな存在の人間になればと欲深いことを考えています。まだ青くさい「ガキ」ですが一生懸命仕事に励み、職員の皆さんと共に協力して喜んで頂けるよう頑張ります。また開館20周年を契機に充実した仕事と取組んで、人間的にも飛躍して行きたいものと願っています。

開館20周年に思う

職員 池 浦 憲 子

入居者の皆様と共に開館20周年を迎えることができ、これまでにない喜びを感じています。現在の日本は世界に例をみない超スピードで高令化社会が進み、平均1.5人という低い出生率とあって21世紀は、高令者対策が最大の悩みとなりそうです。

来友館には50人の入居者が食事や、入浴など集団生活をしています。平均年齢も80才に達しようとしています。これからも健やかに安心して生活して頂けるよう、その環境づくりをするのが職員の責務だと痛感しています。入居者の方も集団生活ということをお忘れず、できるだけ人に迷惑をかけないように心掛け、規律や決められたことを守るよう努力して頂きたいと願っています。

職員も出来るだけお世話したい気持ちでいっぱいですが、炊事や後片付け、掃除にと多忙なため、行き届かない面もあると思いますが、どんな小さいことでも遠慮せずにご相談して頂ければ幸甚です。入居者の皆さんが健康で安心して暮らせるよう、職員一同は20周年の節目の年を機に、明るくて楽しいホームの雰囲気づくりに、労力を惜しまず努力して行きたいと思っています。そうした気持ちの連続が来友館の伝統でもあるのです。

職員 俵積田 トシ子

職員として勤続してからの、20年間は夢の間のように過ぎましたが、数々の思い出が甦って来ます。職員としての研修会、講習会、見学会にも参加し勉強することによって、福祉の知識も備わり仕事が出来ようになりました。

入居者と一緒の一泊旅行、美味しい料理とかくし芸、大広間で枕を並べての話し合いも楽しい旅の思い出です。またホーム特製のお弁当を懸命に作ってのお花見、歩こう会でオゾンをいっぱい吸い込み、浩然の気も養いました。

裏の畑にさつま芋の茎を植えて育て、秋には芋掘りをしました。その後を地ならしして小運動会を催すことに決まり、早速プログラムを作成したり運動具の用意、ハチマキも白は入居者に手伝ってもらい、赤は持ち帰って夜なべ仕事で仕上げました。当日は上天気にも恵まれ全員参加で楽しく競技し、庭で頂く弁当のおいしかったこと今でも忘れられません。

この芋畑も現在は花壇として園芸クラブが、楽しく四季を通じての花づくりに精を出して育てていますし、活け花としても利用しています。

開館 20 周年に思う

職員 柿 元 キミ子

一泊旅行や花見、歩こう会、運動会、餅つきなど、毎年の春夏秋冬行事が一足飛びに過ぎ去って行ったように思われます。

開館20周年に当たり、今日までいくつもの問題を解決して来られた来友館の歴史の重み、大切さの中で福祉にたずさわっていることの喜び、仕事を通じての充実感に感謝せずにはられません。

職員の仕事はホーム内だけでなく、地域との交流を深めるための独居老人配食事業、在宅老人への給食サービス、また送迎つき昼食会をセンターで催して利用者の親睦を図るとともに、楽しさを提供して好評をえています。

ホームに入居されている方は明治、大正、昭和と世代の流れを経験されました。その移り変りで生活環境や人生経験が異なっただけですが、共にいたわり合い助け合って心豊かに、楽しい毎日が過ごせるよう環境づくりに努めたいと思います。

クラブ活動に参加され、趣味を活かすことも健康保持につながるのです。積極参加して活躍されている姿は、とても生きいきして美しく見えるため、これからも入居者の皆さんと共にクラブ活動にも頑張りたいと思います。

職員 地 崎 洋 子

開館20周年という歴史のなかで現在のような連継作業を確立された、先輩達の基礎路線を無視することは出来ませんが、さらに改善に努力し、よきところは継承してすばらしいホームを目指したいと思います。

先輩達の定年を境に若い世代の職員が多くなっています。このように20年の間に3世代の職員が切磋琢磨の日々で頑張っています。入居者の皆様も高令化社会といわれているなか、来友館では60才過ぎから100才まで40才の開きがあるのです。

日常の生活のなかで思想も異なれば、育った環境も千差万別です。私達はその人達のニーズに添った処遇を、またいかに満足してもらえ快適な日々が送れるかをテーマに実践しています。各分野での研修に参加し、ミーティングの場でも更に検討を重ねます。

しかし、けっして忘れてはならないのが「優しい言葉を添えて」というのが私の持論です。来年は泉佐野の関西新空港がオープンされ、何かと便利になりますし、これを機会に来友館もさらに飛躍することを願ってやみません。

開館20周年に思う

職員 根来 ユリ子

時代も昭和から平成に変わり、時の早さを感じます。私も来友館に勤務して早いもので2年目を迎えました。その間にいろいろな行事があり、目まぐるしく1年があっという間に過ぎましたが、最初は何がなんだか分からず、随分と先輩の方々にご迷惑をかけました。

最近では料理を作る楽しさもわかり、寮母の仕事にもなれて入居者の方達とのふれ合いを大事にし、来友館が一つの大きな輪となって、ますます繁栄していくことを望みます。これからも明るく楽しくをモットーに、皆さんと共に頑張っていきたいと思います。

友 情

元入居者 荘 司 永

「友人とは相手のすべてを許容している間柄である」と、むかし武者小路実篤氏の文中で見たと思う。私は実に立派な美しい気持ちの友人に囲まれて過して来ました。

少女時代から何10年もその人達との間が、静かに変わることなく続けられているのです。結婚してこの土地を離れたが10年ほど前に、なつかしい場所で独りで暮らしたく来友館に入居し、好きな絵を描くことにしました。

旧友達に温かく迎えられ、以後数年してある友人が亡くなられて送葬の式に参列したとき、休憩に当てられた附近のお宅に私の描いた、未熟な「万年青」の色紙が架けられていて、恐縮した思い出があります。貧しい暮らしで画塾に通っていた私の幼稚な絵を、その人達が買って下さったようにみせて、その友が自費で近所に差し上げたに違いないのです。そして私が他人に認められたと感激し、励みになっていくのを期待してくれたのだと思います。

その友人は私をじっと見る性格で、やっとなある程度のものを描きはじめたとき、それを求める人を紹介することを忘れなかった。私はそれに甘えて励みましたが、洗練されない性格をすっぱりと抱え容れてくれる友人も多数います。また遠出が困難となった私のために、わざわざ磐若寺のコスモスに囲まれた石仏の風情を写し、画材として届けてくれた青年など、永い10年にとぎれることなく与えられている友情に、いまでも感謝し続けています。

開館 20 周年を迎えて

入居者 近 藤 妙 子

この福祉事業に初めて携わられて以来の20年、館長さんご夫妻には並々ならぬご苦勞がおありだったと存じます。私達も大きな禍いもなく息災に過し得たことは、何よりの喜びと感謝に耐えません。

一定の規則を守りさえすれば1人の部屋で自由ですし、持ち合わせた才能に応じて趣味を活かし、打ち込むことが出来ます。また他の人達とは助け合って楽しい生活が出来た私ですし、ご年輩の方々もお元気に過されています。これも日頃から食事に栄養バランスをと、気配り下さるご配慮があつてこそです。

館長様の言われる通り各階に貼ってある「6つの心」を肝に銘じ、また親しき仲にも礼儀ありという言葉をお忘れず、豊かな心で残る晩年を過せるよう心掛けて行きます。20年この方続けられている行事と日常生活を通じて、お世話頂いている館長、施設長、専務様はじめ職員皆様に厚くお礼を申し上げます。

夕ぐれの 庭を彩る寒椿、足音に もつれゆく鯉春の屋

入居者 三 好 綾 子

開館20周年を迎えましたが私の入館した頃は、まだ手さぐりの毎日だったと思います。ちょうど私が入館したとき生まれた赤ちゃんが、今は大学生になっております。このように時代がかわれば世の中もかわって来るため、私も考えを切り替えなければと思っています。

健康で毎日を楽しませて頂いていますが、このような結構な生活出来るのも、館長様はじめ職員皆様のお陰と日夜感謝しています。今は以前とちがって暖房も行き届き、快適な環境のなかで毎日を送っています。

入居者 西 道 笑 子

始めの頃はホームで生活できるかと不安でしたが、いつの間にか3年が過ぎてしまいました。ある人は集団生活の仲間入りが出来るだろうかと、自分の性格上の心配だったのが、信仰の賜物で6年経過したと聞きます。ふた昔に近いほどホームにお世話になっている方も、庭に祭ってある白龍さんのお務めが毎日あるので、健康でいられるといわれます。

規則正しい食事にお風呂、ただ結構だと感謝しています。若い者と一緒の生活だとお互いに気を使い、話しも合いません。ある人のお世話でこの施設を知り入館しました。これも信仰のお導びきと感謝しています。

開館20周年を迎えて

入居者 松 田 ますゑ

2年前に民謡クラブに入会しましたが、当時は身体が悪く明日の日もわからない状態で、しずんでいたとき民謡の先生にお目にかかりました。何をしても頭がふらふらして困っていましたが、民謡クラブの戸田先生に一生懸命に教えて頂き、気分の優れないまま練習をしていました。

雨の日も風の強い日も、また暑い土用でも午後3時には先生が汗を拭きながら、自転車で三味線に乗せて私達のところに来られます。いつでもニコニコと笑いながら話しかけられ、先生は気分の悪い日は無いのかなあと考えたこともあります。その先生の顔を見るたびに、私の身体も日一日と具合がよくなり、民謡の練習が楽しくなりました。

友達も出来ていろいろ話して笑ったり、足腰の痛みをお互いに話し合ったりで憩いの場所が出来ました。毎週金曜日が練習の日です。2時半には集まって、おしゃべりしながら先生の来られるのを待ちます。私達のクラブは先生におさらいして頂いた唄を、毎月のお誕生会で唄います。

お誕生会がすんで次の練習の日に先生は「どうやった?」と尋ねます。「まあまあでした」と笑いながら答えるときもありますが、この熱心な先生にけいこをつけて頂きありがたいと思います。なかなか上手に唄えませんが、これからもけいこを続けて行こうと思っています。

入居者 羽 原 ミサヲ

来友館でお世話になり今年ではや15年目を迎えます。ついこの前に開館10周年記念があったとばかり思っていたのに、もう20周年で月日のたつのは早いものです。若いときは1日が長いように思っていたのですが、最近では本当に1日が早いように感じます。

入館した当時は61才で皆さんから若い、若いとよく言われました。当時入居されていた人も次第に少なくなり、職員さんも定年で退職されて名残りはつきませんが、やはり別れは寂しいものです。

この15年間で最も悲しかったことは、親友の突然の死です。私にとっては今でもどこからか、元気な声で「ハネさん」と呼んでくれるような気がします。あんなに来友館が大好きで、皆んなのことを最後まで気にしていたのにと、想い出す度に涙がこみあげて来ます。

来友館に入居してから充実した生活ができ、役職員皆様のご努力と温かい応待で、なに不自由なく楽しい毎日が過ぎて感謝しています。

開館20周年を迎えて

入居者 水野千代

入館したのは昭和59年10月15日、当時のことは今もはっきり覚えています。一人気ままにと思っていたのですが、そこは同じ屋根の下に50人「こらえらいこっちゃ」と思いました。でも自分から言い出して来たこと、どこへも言うて行くところないし、その時廊下に貼ってある「6ツの心」が目についた。「ハイと言う素直な心」、「ありがとうと言う感謝の心」、「私がしますと言う積極的な心……、それからはこの「6ツの心」をつねに心掛けています。

今年3月19日に私は来友館を一度退館しました。熊取に居る孫や娘に説得され、タンスや冷蔵庫などを処分して引越しました。ところが新しい住宅地で合いはなく、近所の様子もさっぱりわからず、孫夫婦は仕事に出掛けるので昼間は私1人、淋しいやら退屈やらでまた「えらいこっちゃ」と思いました。

様子を見に来た娘が「これでは可愛そうや、もう一度来友館にお世話になろう」と言うてくれたので渡りに船、館長さんも私がずっとお詣りしていた「白龍さんも待ってなはるよ」と、快よく迎えて下さいました。退館して1週間しかたっていないなかったので、私の元の部屋はそのままでした。家具など新しいものを揃えましたが、20周年でもこんなことしたのは私だけでしょうね。

入居者 柏迫サチエ

息子も嫁もとめました私の決心で昭和57年5月に入館しました。当時は環境の変化もあって無性に部屋でじっとしているのが辛く、毎日散歩にばかり行っていましたし、夕食後もこっそり海を見に行ったものです。私が意地をはって入居したので帰るに帰れず、不足を言うて行くところもないし、その頃よく浜辺で「金色夜叉」の歌を口ずさんだものです。母親がよく歌っていました。それから3年ほどしたある日、突然私自身の中に変化するものがありました。今日も私は忘れてましたが端午の節句、お風呂は菖蒲湯、お昼には柏もちを頂きました。おひな祭りには桜もち、冬至にはゆず風呂、四季それぞれに何も考えなくても、ちゃんとお世話してもらえます。1泊旅行に春秋の食事会、お花見など、ありがたいことです。

ただ1つの不足は足が痛いことですが、言っても仕方のないこと、足痛とも上手に付き合って行かなければと思っています。

入居者座談会

出席者 北條 ツルエ、田中 八重、今村 君子
中田 淑子、大家やす子、近藤 妙子

●入館当時の思い出について

北條 入館したのは来友館が開設して1年目でした。まだ満室でなく淋しい感じでした。私の生れは大和の山の中、ここに来て海がすぐ近くに見えて驚きました。83才で入館しもう19年になりますが、今年10月28日で102才、月日の経つのは早いものと驚いたり感謝したりしています。

田中 北條さんより10日程早く入館しました。当時の4階は5部屋空いていました。4階のサンルームでよくゲームをして遊んだのを覚えています。それに浜の方へ友達と一緒に散歩して海を眺めたものです。

近藤 私はお二人より1ヶ月程後でした。入館して食事の仕度も後仕末も何もしなくてもよいのには驚きました。お世話をしてもらうことのありがたさをそれからもずっと感じています。その分何かお役に立てることは進んでしたいと思っています。

大家 主人が亡くなってから、子供の所をあっちやこっちで5年間程過しました。どこへ行っても居心地が悪く思い切って入館しました。子供達がとめるのを無理矢理来ましたが、当時は帰りたくて毎日泣いていました。

中田 大家さんは20年になりますが私は丁度半分の10年です。海が近く淡路島もよく見え、そこに虹がかかっていたのが今でも強く印象に残っています。庭にも四季それぞれに花が咲き環境がとっても良い所です。

今村 もう16年になります。当時は足も丈夫だったので浜へよく散歩に行きました。魚市場もよく見に行きました。食堂が長テーブルで並んで食事したのを覚えています。

●入館してからの来友館とご自身の変化について

北條 規則正しい生活をしているせいか以前はよく頭痛がしていましたが、今は食欲もあり丈夫になりました。お陰様で秋には102才になります。

田中 食事に感謝しています。当時は魚が大変多かったように思います。今は毎日変わった材料のお料理が頂けます。私にはよく合いますので食事の時間がとっても楽しみです。93才まで元気に暮らせて頂いています。

近藤 お世話して頂く分何か世間にお返しをせねばと思い、奉仕活動には出来るだけ参加していますが、そういう風調が最近は少ないように思います。



北條つるゑさん 田中八重さん



近藤妙子さん 大家やす子さん



中田淑子さん 今村君子さん

大家 すっかり慣れて気楽にしています。今は孫の結婚やあっちこっちでヒ孫ができて顔を見に行くのが忙しい程です。このあいだも四国へ行ってきました。

中田 家庭でただ漠然と生活していました。近所の人にお世話になるのが内心一寸苦痛でしたが、ここへ来て一人暮らしの楽しさを知り、精神的にも強くなりました。

今村 5年程前から足が痛くなり、その時ちゃんと治療しておいたら治ったのに、それ以来足痛とのつき合いが続き、それだけが残念です。

●今後への期待を聞かせて下さい

北條 年いくごとに身体が縮んで食堂での食事がしにくかったのを、私の所だけ椅子を高くしてもらい大変楽に食事が出来ます。もう何もいうことはありません。

田中 もう10年若かったら、こんなこと言うても仕方ないこと、他はいまのままで満足しています。

大家 子供や孫の所へ行ったらもっとおれ言うてくれますがやっぱりここが一番、5月1日から茨木の孫の所へ行きましたが3日で帰ってきました。

中田 生活自体をもっと前向きに精神的に世間を上げたいと思います。

今村 私の体のこと思うての注意とは十分分りますが、もう少しのんびりできたら…

近藤 自分のできる範囲で世間にお返しをしたいです。親しき仲にも礼儀ありを忘れないことが、ここでの生活には必要だと思います。

地域との対話

配食事業

来友館では昭和53年12月30日、市内の独居老人にお節料理を配達しました。これが大阪府下で最初の配食事業でした。54年からは泉佐野市、東大阪市、大阪市城東区の3地域で定期的な配食が行われ、55年から全国各地で実施されるようになりました。

泉佐野市では利用者が100名を超えるため、市内を約3分割して他の施設に協力をもとめて事業を展開して来ました。温いものは温いうちに、栄養のバランスを考えて、より一層利用者の方々に喜ばれるよう、材料の仕入れや調理、盛り付けに工夫をこらしました。



配食づくりに大忙し



配食ジャーを配達する職員

そのため調理員は積極的に研修、研究会に参加し見学も重ねました。週1回のことながら当日は、入居者との昼食を合わせて100食分以上の調理となるため、早朝出勤もいとわず頑張りました。

そうしながら満14周年が経過し、利用者の方も調理する職員も年と共に変わりましたが、「気持ちのふれ合い」はずっと続いて来ています。

その間の苦労も利用者の方々の「ごちそうさま」の一言で報いられる思いです。多くの方々のご指導、関係者のご助力に感謝するとともに、さらに内容の充実を図った配食がお届けできるよう、今後も頑張っていきます。

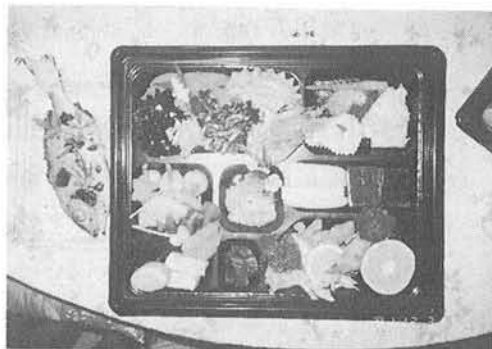
地域との対話

配食利用者からのお便り

だいぶ寒さも身にしみて来ました。1週間ほど前から電気コタツを出し、低い温度で使用しています。前栽の姫椿も枝ぎっしりにつぼみをつけ、裏庭の小菊も小さな花を沢山咲かせています。お前様もにぎやかになり、さぞ喜んでいらっしゃるでしょう。

今日のごちそうさまでした。皆様も元気で頑張ってください。

(春日町・魚谷様)



豪華なお節料理も配食

ごちそうさまでした。いつも感謝しながら有難く頂いています。私も年で眼が悪くなり、見たり書いたりが無理になって来ました。今年も残り少なくなってまいりましたが、大晦日のお節料理を楽しみにしています。皆様もご多忙でしょうが今後ともよろしく願います。(高松町・北野様)

日暮れの早さはショックですが、秋の夜長を楽しむ季節でもあります。每晚7時からテレビの前に釘づけでクイズばかり見えています。ボケ防止によいのですが、これが非常に難しく10問中2問当たれば上々です。頭の体操のつもりで一生懸命頑張ります。1人暮らしでも何かと忙しいものですが頑張っています。いつもお弁当をおいしく頂いています。(本町・出村谷様)

光陰矢の如しと申しますが、早やお正月も近づいて来ました。お蔭様で来年もお正月を迎えさせて頂けると感謝しています。ありがたいことです。「たくましくなくては1人生きてゆけない、しかもやさしさがなければ生きる価値がない」、この言葉を本で読みいかにもと思いました。これからは何ごとにも優しい気持ちで接し、元気に過さなければと思っています。今日もお弁当ごちそうさまでした。食後のみかんもおいしく頂きました。

地域との対話

在宅老人給食事業

対象地域は原則として来友館に隣接する地域のお年寄りです。給食日は毎週木曜、土曜日の昼食で、月1回は給食センターで会食します。会食以外の昼食は利用者宅に直接配達します。給食は1食につき300円、利用者は70才以上の独居、夫婦所帯です。

独居老人配食事業は歴史も古く昭和53年12月から実施していますが、泉佐野市社協主導の事業です。これとは別に来友館では一層地域との接触を深めるため、この事業を独自に開始したのです。

従って直接利用者宅に給食を届ける度に、会話を持つことに心掛けています。



給食センターでの会食

今では利用者同志のおつき合いも進んでいます。昨年の忘年会には利用者の皆さんに集まって頂きましたが、話もはずみ随分と楽しく盛りあがりました。



在宅老人給食センター

また利用者の方達同志お友達になって頂くため、給食センターを新築し月1回の会食も計画しました。対象地域の民生委員の方々にご協力を頂き、各町内回覧板で希望者を募って頂き、平成元年9月14日に初の給食を届けました。

給食日が祝祭日に当たる日でも休まず配達しています。平成5年3月に350回目の給食を届けることが出来ました。

地域との対話

給食利用者との会話

高寺さんは給食を2つに分けて「佛前に供えてから頂きます」という。3時までには食べて下さいと伝えると、「佛様にも食べてもらい10分したらよばれます」と、祖先を敬まい大切にすることを忘れない。(H1.9.20)

給食センターでのスキヤキ会食に前田さんを誘うと、「スキヤキを食べるのは何年ぶりかなあ、今日は他に用事もあるけど、誘ってもらったんでよばれに行きますわ」と、ニコニコしながら

スーツにネクタイ姿という正装でセンターにお出まし。(H1.11.11)

松王さんは給食を届けると「ほんまに300円でよろしいの？、町で買うたら1000円しませ」、ちょっとオーバーなこと。「ほな700円は私の気持ちや思うて下さい」と感謝され、「今までなあ、この先の弁当屋で週2~3回買うてました。このあいだ店の前を通ったら、この頃ごぶさたやなあ」と不審がられたとのことです。(H2.3.22)

出村谷さん宅に配達に行くが留守、午後1時に外出から帰られ「アラッ今日はお弁当の日？忘れてたゴメン、まだお昼食べてない、帰って何にしようかと考えてたところ、ほなよばれます」のんきなもんや。(H2.8.4)

昨年3月の会食のとき本町の石川さんと、旭町の森田さんが70年前の同級生であることが判明、その後おつき合いが続いていますが、その石川さんが入院されました。1日も早い快復を祈ります。

来友館ではお弁当と一緒に会話も届けています。1人暮らしのお年寄りのはのんきななあと思っていましたが、予想以上に明るく、たくましく生活されており、給食してみたの新発見です。さらに内容の充実を図って前進します。



忘年会のスキヤキパーティー

クラブ活動

民謡クラブ

戸田 登代子先生



民謡クラブを担当して頂いて3年になります。練習は毎週金曜日の午後3時から4時の1時間。指導して頂くのは戸田登代子先生で、雨の日、風の日も休むことなく教えに来てくださいます。

クラブ員の10名は先生が到着されるまでに準備をして待っていますが、皆さんは一生懸命に習おうとします。覚えやすい唄もあれば、むずかしい唄もありますが、先生の三味線に合わせて時の過ぎるのも忘れ、唄に夢中になるのも楽しいひとときです。

腹から声を出すことで健康につながるし、覚えようとすることによって呆け防止になり、お年寄りに最適ではないかと思えます。これからもより一生懸命に練習し、年に一度の開館記念日、敬老の日などを目標に、成果が発揮できるよう頑張るとともに、明るくて楽しい民謡クラブにしたいと思えます。

〈クラブ員〉松田 ますゑ、大家 やす子、古川 ヨシコ

奥野 静子、西道 笑子、上田 政子

立花 チズエ、亀田 幸子、原田 ヨシ子

〈職員〉池浦 憲子

クラブ活動

踊りクラブ 大和谷 トヨ子先生



来友館にお招き頂き早や7年になります。私も町内会や長生会など、いろいろな所に踊りのおけいこに出かけますが、ここはいつも皆さんがおけいこの日を楽しみに待っていてくれますので、はりあいがあります。

5年ほど前になりますか「老人福祉大会」のとき、大阪の南御堂大舞台で花笠音頭を、皆さんと一緒に踊ったのが一番印象に残っています。それから何度も南御堂に行きましたが、当時からでは入居者の方も随分変わりました。

私も皆さんとほとんど同年代のせいか、皆さんの気持ちもよく理解できるつもりです。ただ踊りの練習をするだけでなく、他にも何かお役に立てればと考えています。決して踊りだけを上手になろうというのではなく、週1回のことですが、踊ることにより心身を解放して心の健康にも役立てて下さい。

私を含めての話ですが、現在の老人は随分恵まれていると思います。保険にしろ年金にしろ、これも若い人達の支えがあればこそ、それを忘れず感謝しながら今の生活を楽しんで頂ければと思います。

〈クラブ員〉竹原ユキエ、金森みつぎ、児島スエ子、東 カツ子

立花チヅエ、原田ヨシ子

〈職員〉俵積田トシ子

園芸クラブ



昭和61年10月に発足しました。それまでは鉢植の菊や野菜を数人で作っていたのを、発展的に解散して花作りに挑戦しようとしたわけです。クラブ員が増えたため庭の空地を耕やして花畑を拡大しました。庭の落葉を集めて腐葉土を作り、自分達の花壇にチューリップなどを植えました。

翌年4月に花が咲いた時はみんなで手をたたいて喜びました。切り花にして佛様に供えたり、NHKの「趣味の園芸」をみて勉強もしました。それからは毎年お正月の門松に葉ボタンを飾ることも、クレマチスをプランターに植え玄関に飾ることも出来ます。

アジサイの差し木にも挑戦しました。5月の開館記念日にはクラブで作った花が盛り花として活けられます。一番喜んでもらったのは入院中の人に、その時期の切り花を届けた時です。早くよくなってもらえるようにと続けています。また空いた所でサツマイモを植え、昨年12月は焼イモ大会もしました。

このように花を育て咲かせる楽しみ、収穫の楽しみを知り、次にどんな花を植えようかと計画する楽しみ、種を蒔き球根を植え、それが発芽して生長して行くのを見る楽しみも味わい、育てる喜びを感じています。クラブ員でお花見やモミジ狩りにも行き、忘年会も開いて親睦を深めます。

市社協からボランティアの方が月2回来て手助けしてくれます。当日が雨の時は娯楽室で「お話し会」を開きます。残念なのはクラブ員が減ったこと、越さんが退館され会員は現在9名で平均年齢は83才、それでも元気に花の世話をしています。チューリップの満開が過ぎればキンセンカが満開、ナデシコも咲き始めます。夏はヒマワリ、秋はコスモスを咲かせたいと計画しています。

〈クラブ員〉水野 千代、三好 綾子、森田 清枝、松田ますゑ、紀伊国谷勇雄
西畑 養輔、大家やす子、西道 笑子、東 カツ子

〈職員〉吉田 基幸

書道クラブ

盛原 翠香先生



来友館に伺うようになって9年位になります。12周年記念祝賀会のプログラムを書いたのを覚えています。私の他の教室と比較して随分平均年令が高いにもかかわらず、皆さんの「書」に対する姿勢が立派なものには驚いています。

指導の方針としては、規定の課題を練習して頂くのが一番よいと思いますが、それも高齢の方々のクラブということを考えますと、無理かとも思われるため今迄通り自由ということで皆さんに頑張ってもらっています。

現在「老人」と呼ばれているお年寄り達は、昔にくらべ身心共に元気で若く、とても自分達の時間を大切に、しかも楽しんでおられるように思います。若者に頼らず自分達仲間の生活を大切にすることは非常によいことだし、それをずっと続けて行って頂きたいと思います。

〈クラブ員〉三好 綾子、今村 君子、北條ツルエ、中田 淑子
近藤 妙子、東 カツ子、松田ますゑ、竹原ユキエ
森田 清枝、羽原ミサヲ、立花チヅエ、堀 つ祐
〈職員〉地崎 洋子

俳句クラブ

阪上 蝸牛子先生

クラブ員の俳句

近藤 妙子

老仲間 会話のはずむ春日和

羽原ミサオ

縁側に 訪ねし友の春日和

今村 君子

長き穩の 筆のこなせる老夫婦

中田 淑子

春日和 園児の列の伸びちぢみ

福井 照子

春の月 白き雲間にただよいて

松田ますゑ

軒先で わらびのせいり老夫婦



俳句クラブにお伺いするようになって、はて何年になるのだろうか、10年位になるのか、それ以上になるのかもはっきりしない。それは私の福祉関係の文芸担当がかなり多いからです。各種施設や福祉センター、公民館などで「趣味を持つとは」について、私の主義主張をはっきりと申し上げます。

趣味とは上手になろうとすることではなく、「生きる証し」としての思考を深めることだと思います。クラブではよき話し相手として世間話しをしたりします。また生きている今に感謝し受けた恩にどう報いるかについても話合います。館にお伺いするようになってからでも、多くの方が亡くなられたり去って行かれました。ときには公民館の句会に参加したいという入居者の方を背負って、案内したことなど語っても尽きない思い出です。

17文字にどう表現して俳句を作るかについて、長い年月よく私如きについて来て頂いたと感謝しています。これも館長さんはじめ職員皆様のご理解の賜物と感謝しています。

歌を楽しむ会



カラオケクラブとして発足しましたが、そこは皆さん高令でカラオケばかりが先に行き、肝心の歌がついて行きません。そこでもう一度初心に戻って聞くことから始めました。一堂に集まって演歌や民謡を聞き、ちらほらと歌声も出るようになり、上手に歌えないと行って去って行った人も戻って来ました。

上手に歌えなくても、聞くことで歌に親しむというねらいは一応成功しました。今では35人がクラブ員という大世帯で、近所のカラオケクラブを借り切って忘年会も開きます。月2回の練習日を皆んな楽しみにしていますし、今日も平均年令82才の元気な歌声が響いています。

〈クラブ員〉 上田 政子、近藤 妙子、別府ミツエ、東 カツ子、立花チヅエ
 岩崎 ヒロ、北條ツルエ、古川ヨシ子、田中 文子、羽原ミサヲ
 竹内 雪江、森田 清枝、大家やす子、亀田 幸子、有田 紋一
 大谷フサエ、福井 照子、松田ますゑ、西道 笑子、柳原トミエ
 中田 淑子、田中 八重、児島スエ子、水野 千代、原田ヨシ子
 三栖 茂雄、和田 はま、金森みつぎ、今村 君子、多田キョエ
 柏迫サチエ、竹原ユキエ、江口スギノ、奥野 静子、紀伊国谷勇雄
 〈職員〉 柿元キミ子、地崎 洋子、根来ユリ子、竹澤 充子、室井 康代

開館10～20年の歩み

58年

- 4月11日 「春季歩こう会」で根来寺、粉川寺へ花見、入居者24名職員6名参加。
- 13日 昭和58年度独居老人配食会議、市社協にて開催、58年度配食数、担当地域決定。
- 14日 松竹新喜劇招待受ける。入居者9名観劇。
- 27日 「つる亀の集い」池田市民会館にて開かれる。入居者10名、職員3名引率し参加。
- 5月1日 泉佐野市長生会主催の「歩こう会」淡輪つつじ見物に8名参加。
- 28日 開館記念日、10周年祝賀会開催。
- 6月1日 南御堂の福祉大会に踊りクラブ7名出演。
- 12日 泉佐野市長生会主催「ゲートボール大会」末広公園にて開催、有志6名参加する。
- 15日 来友館ゲートボールクラブ結成、代表世話人に広田朝隆さん就任する。会員10名で発足。
- 7月8日 夏の一泊旅行「たんのわ苑」へ出発、入居者37名参加、職員7名引率。
- 10日 奈良小林製材で「柿の葉寿し」講習を受取る。
- 23日 春日神社夏祭り、子供みこしにカキ氷接待。
- 8月16日 台風接近につき非常食準備する。



開館10周年、演芸の七福神



ゲートボールクラブ結成

- 8月21日 春日町子供会の夜店に招待受ける。
- 23日 8月誕生会開く、席上にて「らいゆう」10周年記念号配布。
- 9月2日 泉佐野市主催敬老大会に入居者14名参加。
- 15日 敬老の日家族会開催、式典、宴会に続き入居者、職員参加して
演芸大会開く。
- 30日 岸和田市福祉総合センターにて開催の作品展を入居者6名が見
学、職員1名引率。
- 10月11日 市消防本部主催防災訓練に職員2名参加、屋内消火栓操法競技
会を見学。
- 13日 「大阪城博覧会」入居者3名見学。
- 18日 「秋の古寺巡り」入居者7名参加。
- 26日 老人福祉施設全国大会へ館長、田中寮母出席する。
- 30日 市長生会主催ゲートボール大会に出場、1回戦で惜敗する。
- 11月3日 文化の日「第1回来友館運動会」開催、入居者、職員全員参加
する。
- 4日 大阪国際グルメフェアーを職員2名見学、於大阪見本市会場
- 5日 社会福祉施設従業者共済会運動会に職員2名参加、於枚方市の
松下体育館。
- 12日 泉佐野市文化祭、作品展に書道クラブ出展、入居者多数見学。
- 23日 熊取町の京都大学原子炉施設を入居者3名見学。
- 28日 「わてが作りまし展」於社会福祉指導センターに出展、見学。
- 29日 河内長野市 延命寺 観心寺へ紅葉見物 入居者7名参加。



来友館運動会 パン喰い競走



スプーンレースの出番を待つ入居者

- 12月6日 松竹新喜劇招待あり、入居者7名観劇、職員3名引率。
- 19日 年末館内大掃除。
- 23日 新年用プレゼント配布。
- 24日 12月誕生会、紅白歌合戦開催。
- 30日 餅つき大会、鏡餅、お正月雑煮用お餅つくる。
- 31日 独居老人配食、おせち料理配達、入居者用おせち料理作る、迎春準備。

59年

- 1月1日 新年祝賀会、8時より日の丸掲揚、館長挨拶、雑煮、おせち料理で新年を祝う。
- 8日 浪速演芸サークルによるボランティア演芸大会開催
- 25日 泉佐野市ボランティアによる歌謡ショー開催。
- 2月22日 老人福祉施設、施設長研修会、於広島県江田島、館長出席。
- 3月16日 春の一泊旅行、琵琶湖ホテル紅葉泊、翌日は比叡山参拝、清水寺他京都の社寺拝観する。
- 4月3日 4階洗濯場にて洗濯機3台購入し設置する。物干場増設する。
- 10日 4月誕生会開催、新しい試みとしてバイキング料理とする。
- 17日 「お花見」和歌山方面へ、根来寺、粉川寺へ貸切りバスで遠足。
- 21日 浴室タイル貼替え工事、約1週間の予定で着工、工事中入浴は近所の公衆浴場利用、入浴券購入し配布する。
- 25日 カラオケクラブが「歌を楽しむ会」として新発足する。
- 26日 「鶴亀の集い」へ入居者10名、独居老人配食利用者3名参加



1月の大雪・屋上より西を望む



お花見、根来寺境内にて

- 4月30日 泉佐野市福祉農園使用許可を取り、クラブ員4名で「園芸クラブ」発足する。
- 5月5日 端午の節句「夕食会」開く。
- 7日 淡輪公園へつゝじ花見、17名参加する。
- 18日 食堂ホールにシャンデリア5基取付ける。
- 23日 春日町長生会慰安旅行に3名参加、和歌山「万波楼」へ。
- 26日 第12回開館記念日、昼食パーティー開催、理事会開く。
- 6月7日 近畿老人福祉施設協議会に施設長、専務、田中寮母出席、中垣栄養士が食品の嗜好調査について発表する。
- 21日 庭園の梅収穫、3キロあり梅酒に漬込みする。
- 28日 泉佐野市社会福祉協議会の県外研修に施設長参加、石川県社会福祉協議会見学、現地研修会場で意見交換。
- 7月6日 「夏の一泊旅行」新和歌観光ホテルへ、バス組18名、電車組17名、職員7名参加。
- 17日 集団給食研修会に中垣栄養士、米津寮母出席。
- 24日 独居老人配食に通常献立てのほか、ホーム特製「ちらしずし」を添えてサービス。
「園芸クラブ」福祉農園で収穫したトマトを夕食に提供する。
- 30日 土用丑の日、昼食に特製「うな重」入院者3名にも医師の許可をとって届ける。
- 8月14日 「園芸クラブ」農園でナス、キュウリ、トマト、11キロを収穫
- 15日 老人福祉施設協議会・軽費分科会研修に施設長、専務参加、徳



一泊旅行のバスを待つ参加者



一泊旅行 加太海岸にて

- 島へ出張
- 8月30日 地域福祉講演会に吉田出席する。パネルディスカッションほか
- 9月1日 泉佐野市「敬老大会」開催、於市民会館大ホール、入居者11名、職員2名の引率で参加。
- 15日 敬老の日家族会、祝賀会、宴会、演芸会開催、永年入居者に記念品贈呈。
- 16日 社会福祉主事講座、スクーリング出席のため東京へ吉田出張、23日まで。
- 28日 自家製梅酒 入居者1人1合ずつ配布する。
- 10月4日 職員研修旅行、施設長、専務他職員4名参加。
- 5日 泉佐野市消防本部主催、屋内消火栓操法競技会を職員3名見学。
- 12日 泉佐野市主催「老人交流作品展」出品依頼あり作品準備、出品希望者募集。
- 17日 末広体育館での「老人交流作品展」希望者多数見学。
- 18日 春日町長生会「秋の歩こう会」に9名参加する。
- 22日 府庁より招待受けコマ劇場へ観劇、10名招待受ける。
- 31日 軽費老人ホーム全国大会に施設長、専務出席。
- 11月3日 秋の小運動会開催する。おにぎり弁当、ぜんざいを食べながら輪投げ、紅白球入れ、フォークダンス等全員参加で楽しむ。
- 5日 漫才の平和ラッパ・日佐丸さん来館、演芸会開く。
- 8日 市消防署、火災予防協会から防火優良施設として表彰状、記念品授与される。



裏庭で小運動会



漫才の平和ラッパ・日佐丸さん

- 11月9日 市長生会主催、作品展に書道・手芸品等出品する。
同志社香里高校から生徒6名来館、入居者代表10名をまじえ
座談会を開く「老人ホームでの生活」について。
- 10日 泉佐野市人権を守る会主催、バスツアーに5名参加。
- 14日 庭の柿を収穫、正月用干柿に入居者希望者は配布する。
- 26日 書道クラブの盛原先生が個展、施設長より花束贈る。
- 12月3日 各階にガスオーブントースター設置する。
- 12日 各クラブ順次忘年会開く。
- 15日 ホーム忘年会「紅白歌合戦」開催。
- 26日 お正月用プレゼント配布。
- 31日 独居老人配食 恒例の「おせち料理」配達する。テレビ朝日よりテレビ放映される。

60年

- 1月12日 農園より冬ダイコン10キロ他収穫しホーム給食用に提供する。
- 15日 新年福笑い大会開催。
- 18日 春日町長生会新年会に4名参加。
- 2月13日 入居者40名、職員11名参加し避難訓練開催、訓練終了後消防
本部予防課職員の講評。
- 19日 軽費老人ホーム施設長会議に施設長、専務出席、広島市へ出張。
- 3月3日 ホーム「ひな祭り」桜もち、白酒、ちらしずしで祝う。
- 16日 観梅の会開催、俳句クラブが庭梅の木に短冊、うぐいす餅で観
賞する。



忘年会 紅組



忘年会 白組

- 3月22日 春の一泊旅行は琵琶湖「ホテル紅葉」に一泊、翌日は京都市内社寺拝観する。
- 4月6日 泉佐野市商工会議所前庭を借り「お花見」入居者全員徒歩にて参加する。お礼にホーム特製お弁当を会議所職員さんに届ける。
- 8日 春日町長生会花見に5名参加する。
- 30日 61年度独居老人配食開始、42食分担当する。淡輪つつじ見物に希望者11名参加。
- 5月1日 池田市市民会館の「つる亀の集い」に、13名招待され職員2名の引率で参加する。
- 16日 全国軽費老人ホーム連絡協議会に施設長出席。
- 26日 第13回「開館記念日」祝賀会、宴会、演芸会開催、午前中に理事会開催。
- 30日 防火管理者講習会に吉田出席、防火管理者資格取得。
- 31日 南御堂の老人福祉大会に民謡クラブ12名出演。
- 6月5日 近畿老人福祉施設研修会に館長、専務出席。
- 8日 北海道の「恵和園エルテルハイム」湯口施設長来館される。
- 21日 市社協県外研修に館長出席、鳥取市社協見学ほか。
- 7月5日 避難訓練開催、入居者45名、職員11名参加、訓練後消防本部職員の講評。
- 7日 七夕祭り、独居老人配食先の人達からも色紙届く。玄関ホールに飾りつけする。
- 10日 夏の一泊旅行、入居者25名、職員6名引率で。



泉佐野市商工会議所前庭にて



全員参加で花見会

- 7月23日 春日神社夏祭り、子供みこしの担手にカキ氷の接待、子供50
24日 人に約200杯のカキ氷、午後より入居者にもカキ氷プレゼントする。
- 8月15日 終戦記念日、正午より食堂ホールに全員集合し一分間の「黙禱」
戦没者のめい福を祈る。昼食は当時を偲びダンゴ汁を味わう。
28日 地滑り災害の老人ホーム「松寿荘」へのカンパ募る。
- 9月3日 市民会館での泉佐野市敬老大会に入居者16名参加する。お菓子等お土産もらう。
10日 敬老の日プレゼント配布。
13日 近鉄百貨店阿倍野店で開催の「わてが作りまし展」に出品、希望者5名見学に行く。
15日 敬老の日家族会開催、式典、宴会、演芸会開催、午前中に理事会開催する。
27日 腹話術の慰問受け独居老人配食利用者も招待、昼食会開催。
28日 中秋の名月、萩、ススキと月見だんご配布 観月会開催する。
- 10月1日 国勢調査実施。
6日 春日町長生会の「歩こう会」に入居者4名参加する。
7日 危険物取扱い講習会に日根ノ谷出席する。資格取得する。
26日 秋の運動会開催、独居老人配食利用者も招待し春日公園にて行う、紅白球入れ、フォークダンス、昼食をはさんで約3時間を楽しむ。
28日 群馬県にて開催の老人福祉施設全国大会に施設長、専務出席。



敬老の日を祝う入居者の皆さん



敬老の日に職員も演芸でお祝い

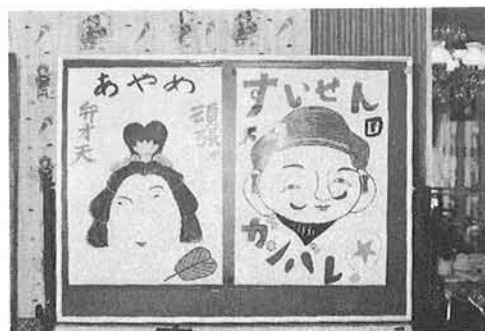
- 11月 8日 定期健康診断、嘱託医梶野先生の検診、入居者全員受ける。
 9日 泉佐野市民総合展に、書道、手芸等出品、入居者13名、職員3名で見学。
 15日 国際グルメ展を栄養士中垣、寮母柿元見学。
 26日 犬鳴山へ紅葉見物、入居者有志8名参加する。
 12月 6日 府庁より文楽劇場招待受け入居者8名、独居老人配食利用者2名、職員引率にて観劇。
 14日 各クラブ指導の先生方も招待し忘年会開催、紅白歌合戦他。
 23日 お正月用プレゼント配布。
 28日 お正月用餅つき大会。
 31日 独居老人配食、おせち料理配達する。

61年

- 1月 1日 新年祝賀会、おせち料理配布、お雑煮で新年を祝う、施設長より新年祝賀の挨拶。
 12日 なにわ演芸社より演芸慰問受ける。
 15日 新年福笑い大会、食堂テーブル毎10名1組で福笑いの競演。
 25日 職員新年会開催。
 2月 3日 西宮市軽費老人ホーム「雅楽荘」から、独居老人配食を見学に来寮母2名来館。
 4日 有料老人ホーム「熱海ゆとりあの郷」見学会に施設長参加。
 7日 合同避難訓練実施、市消防本部の指導受ける。
 17日 府庁の招待により毎日ホールで公演中の「藤田まこと特別公演」



新年福笑い大会



テーブル別の作品

- 観劇、入居者 8 名、独居老人配食利用者 2 名参加。
- 18日 全国施設長会議に館長、専務出席。
- 28日 春の火災予防週間、防火について特別職員会議開く。
- 3月6日 春の一泊旅行、宝塚歌劇観劇と有馬温泉へ、入居者 22 名参加。
- 10日 指導センターで開催の小室教授講演会を田中主任寮母、吉田指導員聴講。
- 24日 福德軒主人来館し調理実演、中華料理講習会開催。
- 4月6日 職員研修旅行、高知県の軽費老人ホーム筆山寮見学。
- 7日 春の定期検診、入居者全員泉佐野保健所で検診受ける。
- 11日 61年度「独居老人配食会議」市社協で開催、専務、中垣栄養士出席、地区と数割り当てで42食に決定する。
- 19日 階段1～4階に手すり新設する。
- 21日 宇部市の好生園から独居老人配食事業見学のため、施設長他2名来館し調理、配達を見学。
- 30日 「つるかめの集い」池田市民会館へ入居者8名参加。
- 5月25日 第14回開館記念日、祝賀会、宴会、演芸会開催。
- 26日 厚生省・青木課長、指導センターにて講演 専務、吉田指導員聴講する。
- 6月3日 老人福祉大会が南御堂で開催される、踊りクラブ8名出演。
- 11日 近畿老人福祉施設研究協議会が、京都で開かれ施設長出席。
- 19日 泉佐野市社協主催の社協県外研修で愛知県へ、施設長出席。
- 24日 自主防災訓練開催を機に入居代表7名を選抜し、「避難誘導隊」



開館記念日に植野理事が祝詞

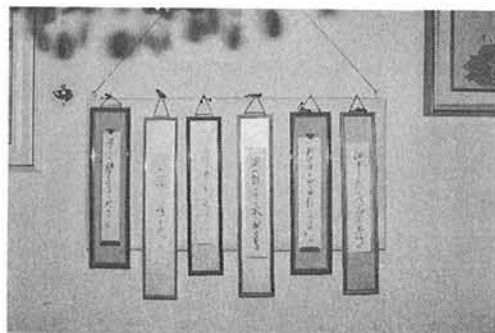


開館記念に展示された手芸品

- を結成、主旨説明し協力を要請する。
消防本部へ自主訓練実施要項を届け出る。
- 27日 自主避難訓練実施、入居者42名、職員12名参加する、午後から消火器使い消火訓練。
- 7月7日 七夕祭り飾り付け、独居老人配食利用者に参加呼びかける、色紙、折紙等多数集まり飾り付けする。
- 13日 「夏の一泊旅行」琵琶湖・ホテル紅葉にて一泊、京都市内社寺見学、拝観する。
- 23日 春日神社夏祭り 子供みこし担ぎ手にカキ氷の接待。
- 26日 松江市で開催の全国福祉問題研究集会に施設長、専務出席。
- 8月15日 終戦記念日、戦没者のめい福を祈り正午に全員黙禱、夜は有志により盆踊り大会開く。
- 26日 水道地下タンク、屋上貯水タンク清掃作業。
- 28日 館内消防用諸設備点検。
- 9月1日 防火の日「防災について考える」講演会、消防本部で開催、吉田指導員出席。
- 3日 市主催の敬老大会に入居者11名参加。
- 7日 朝日新聞社招待により近鉄劇場の観劇に5名参加。
- 11日 「わてが作りまし展」に出品、近鉄百貨店へ5名見学。
- 12日 敬老の日プレゼント配布。
- 14日 敬老の日家族会開催、祝賀会、宴会、演芸会、午前中理事会開催する。



敬老の日家族会



敬老の日展示作品 俳句クラブ

- 9月30日 庭広場開墾し花壇作る。希望者募り「園芸クラブ」新規発足する、クラブ員9名参加。
- 10月6日 屋上、3階ベランダ、2階洗濯物干場の防水工事開始、15日迄。
- 7日 秋の運動会開催、春日公園で紅白球入れ、アリ引き競走など16種目を楽しむ。
- 14日 市消防本部主催、屋内消火栓操法競技会見学。
- 27日 愛知県の特別養護老人ホーム「福寿園」で施設長研修会開催、施設長出席。
- 11月5日 休部中の「踊りクラブ」が、新しく大和谷先生を迎えて再発足へ、毎週火曜日を練習日とする。
- 7日 泉佐野市総合展に作品出品する、8日希望者10名が見学。
- 12日 「秋の歩こう会」第1班が牛滝山、水間観音へ紅葉狩り。
- 13日 第2班が滝畑ダム、金剛寺へ。
- 21日 奈良・大倭滝の峰荘から寮母3名が、独居老人配食事業見学に来館、調理と配達を見学。
- 26日 山口県で開催の全国社会福祉施設研究大会に施設長出席。
- 12月8日 海原はるか・かなたさん来館、演芸会開催。独居老人配食利用者と春日町長生会より希望者招待。
- 16日 忘年会開催、宴会、演芸、紅白歌合戦で楽しむ。
- 22日 お正月用プレゼント配布。
- 29日 職員・入居者合同餅つき大会
- 31日 独居老人配食、恒例のおせち料理配達、本町会館でテレビ撮影



奈良・大倭滝の峰荘より施設見学



海原はるか・かなたさんを迎え演芸会

あり、夜7時の大阪版ニュースで放映される。

62年

- 1月1日 新年祝賀会、おせち料理、雑煮で新年を祝う、施設長祝賀挨拶。
11日 館側壁のタイル貼り工事開始。
15日 新年会開催。福笑い大会。
2月15日 館改修工事の第1期工事終了、外壁タイル貼替え工事完了。
19日 全国軽費老人ホーム連絡協議会の会員名簿、施設紹介完成し加盟207施設へ発送する、全社協よりも要望あり発送する。
25日 全国施設長会議が熱海で開催、施設長出席。
3月3日 ひな祭り、白酒、桜もち配布 独居老人配食にも桜もちつける。
施設長、田中主任寮母が陶器荘のひな祭りを見学
15日 春の一泊旅行で琵琶湖のホテル紅葉へ、京都市内社寺拝観。
4月2日 ホーム建物外壁塗装工事完了、前面タイル貼り工事も終り外観が一新する。
9日 市社協で昭和62年度独居老人配食会議開催、今年度配食先担当地区割当て、全42食に決定する。
24日 泉佐野市主催の長生会演芸大会に参加する。
5月13日 食堂・玄関ホール改修工事、シャンデリア取付けで館内外とも美しく新装される。
14日 浴場、天井貼り替え工事。
24日 開館記念日、祝賀式典、宴会、演芸会開催。午前中理事会開催。
29日 岸和田市福田のバラ園見学、水間寺まで足をのぼし観音さま拝



改装中の外壁



外壁タイル貼り完了

- 観、18名参加。
- 6月1日 近畿老人福祉施設研修会が白浜で開催される。施設長、専務、田中主任寮母、吉田指導員出席。
- 2日 南御堂老人福祉大会に踊りクラブ7名出演。
- 8日 東京松寿園火災で死者多数、消防本部より即日立入り検査あり、問題点なく検査後入居者、職員に防火対策講演、消防本部から職員2名来館。
- 11日 堺・鳳神社の菖蒲見物、入居者有志13名参加。
- 23日 茨木市の軽費老人ホーム「悠々の園」開設、招待受け寮母3名が見学する。
- 25日 市社協主催の県外研修で川西市社協見学、独居老人配食事業見学、吉田指導員参加する。
- 7月4日 避難、消火訓練、消防本部から2名来館、指導を受ける。
- 5日 市社協主催のチャリティーカラオケ大会に参加、独居老人配食事業運営資金捻出が目的、一般市民の協力を受ける。
- 7日 七夕祭り、独居老人配食利用者からも色紙、折紙等多数寄せられ玄関ホールに飾りつけする。
- 19日 夏の一泊旅行出発、白浜温泉泊、興国寺、道成寺、湯浅城等見学、入居者27名参加する。
- 23日 春日神社夏祭り、子供みこし担ぎ手に恒例のカキ氷接待、24日両日に渡り老人クラブ頑張る。
- 8月14日 ホーム盆踊り大会開催、入居者25名、職員8名参加。



白浜 ホテル・ハイプレーランド玄関にて



ホーム盆踊り大会

- 8月15日 終戦記念日、戦没者のめい福を祈り全員で1分間の黙禱。
- 18日 佐野高校演劇部の慰問を受ける。
- 9月1日 防災の日、館内非常灯、階段、各居室インターホーン等非常時
用各設備総点検、消防本部へ点検結果報告。
- 7日 泉佐野市敬老大会に12名参加。
- 11日 「わてが作りまし展」に作品出展、入居者8名見学、13日まで
近鉄百貨店阿倍野店で開催される。
- 15日 敬老の日祝賀会、家族会を開催、式典、宴会、演芸会で楽しむ。
- 29日 岡山県で開催の福祉寮母研修会に田中主任寮母出席する。
- 10月7日 中秋の名月、早朝より萩、ススキ取りに犬鳴山へ職員2名行く。
入居者希望者に配布、独居老人配食利用者にも届ける。
- 13日 独居老人配食「毎週火曜日」日頃の感謝の意を込めて市社協へ
配食と同様のお弁当を20食届け試食してもらう。
- 14日 消防本部主催の屋内消火栓操法競技会を職員2名で見学。
- 30日 秋の歩こう会は紅葉見物で根来寺、粉河寺拝観、入居者28名
参加する。
- 11月4日 泉佐野保健所主催の集団給食研修会に調理員2名出席、学校給
食センター見学。
- 9日 泉佐野市総合作品展を見学。
- 12月9日 年末「おせち料理配食」会議、市社協で開催、中沢栄養士出席
容器、材料等共同仕入れについて打合せ。
- 11日 自主避難訓練、入居者43名、職員11名参加し合同訓練実施。



敬老の日80才以上の入居者による「赤とんぼ」
の熱唱



歩こう会紅葉見物で粉河寺に参拝

- 12月12日 忘年会開催、紅白歌合戦、お楽しみ福引大会開く。
- 18日 自動火災報知機設置にともない消防本部担当者と打合わせ。
- 22日 お正月用プレゼント配布。
- 29日 入居者参加で餅つき大会。
- 31日 おせち料理独居老人配食、早朝より調理し午後3時に利用者に届けられるよう職員総出で頑張る。

63年

- 1月1日 新年祝賀会、午前8時30分より全員食堂ホールに集まり新年を祝う、おせち料理、担当職員2名により早朝から雑煮を用意、祝賀会直後に年賀状も配達、春日神社へ初詣。
- 10日 なにわ演芸社から10名の慰問団来館、漫才、踊り、歌謡ショーなど楽しむ。
- 12日 施設長研修会、白浜で開催され施設長、日根ノ谷指導員出席。
- 15日 新年会 福笑い大会開催。
- 20日 園芸クラブ共同作業で春蒔き用草花の苗木を作る。
- 2月22日 花巻市で開催の全国施設長会議に施設長、専務出席。
- 3月3日 ひな祭り、庭の梅にぼんぼりを飾り俳句クラブの短冊をつける、うぐいすもち配布。
- 5日 長崎県・軽費老人ホーム「老友荘」から施設長他7名来館。施設の運営、処遇問題について意見交換、勉強会開く。
- 15日 3月誕生会、今回よりレーザーカラオケ初登場で盛況。
- 20日 町内会主催の海岸大掃除に職員2名参加する。



入居者も餅つきに参加



なにわ演芸社より慰問、メンバーの方々

- 3月22日 春の一泊旅行代替え行事として中座観劇、16名参加する。
- 4月8日 春日町長生会総会に広田氏役員として出席、春日公園清掃奉仕等について意見調整。
- 14日 岸和田城へ花見、入居者10名、職員2名で桜見物。
市社協で開催の63年度配食会議に施設長出席。
- 16日 入居者交流で受念館と合同花見、大阪造幣局通り抜け見物参加。
- 24日 春日町長生会旅行に4名参加。地元老人と交流深める。
- 5月9日 居室窓、手すり、茶室外壁を職員により塗装工事、14日まで。
- 11日 春日公園清掃奉仕後長生会総会に4名出席、清掃奉仕継続について話し合う。
- 12日 泉佐野市制40周年記念式典に施設長出席、老人福祉貢献により表彰受ける。
- 26日 開館記念日プレゼント配布。
- 29日 開館記念日祝賀会、祝賀式典、宴会、演芸会。午前中に理事会開催。
- 31日 NHK暮しのチャンネルで入居者の手芸品、絵画など紹介される。午前11時よりテレビ観賞会。
- 6月2日 南御堂で開催の老人福祉大会に踊りクラブ出演。
- 8日 京都で開催の近畿ブロック施設職員研修会に施設長、日根ノ谷指導員他寮母2名出席。
- 13日 4階洗濯場、タイル貼替え工事。
- 23日 真宗大谷派、道德寺から入江師来館、法話聴講。



岸和田城へ花見に



老人福祉大会に踊りクラブ出演

- 市社協主催県外研修に柿元寮母出席。
- 6月30日 4階洗濯場流しステンレス製に取替え工事。
- 7月3日 市社協主催チャリティーカラオケ大会に12名参加。
- 6日 七夕飾りつけ、独居老人配食利用者も参加し共同で飾りつけ。
全社協にて開催の軽費老人ホームセミナーに吉田指導員出席。
- 7日 夏の一泊旅行、鳴門大橋から瀬戸大橋へ23名参加。7時間の
バス長旅にも全員8日元気に帰館する。
- 16日 元民謡クラブ指導の内畑谷先生逝去される。お通夜、葬儀に参
列する。
- 23日 春日神社夏祭り、老人会、職員により子供みこしにカキ氷接待、
恒例行事として地元との交流深める。
- 8月15日 終戦記念日、正午より黙禱、戦没者のめい福を祈る。
明厳寺住職を招き元入館物故者の法要を行う。
- 9月1日 防災の日、館内消防用設備総点検と防火に関する講話。
- 3日 1階ロビーに大型テレビ設置。
- 7日 泉佐野市敬老大会に12名参加、演芸大会を楽しむ。
- 13日 敬老の日プレゼント配布。
- 15日 敬老の日家族会開催、関西学院大学落語研究会より慰問、入居
者、家族、職員で観賞する。
- 10月3日 泉佐野保健所より「食中毒予防」のビデオ借り入れ上映する。
給食の持帰り等について注意する。
- 17日 休部中の民謡クラブに戸田先生が決まり再開する。クラブ員8



七夕飾りつけ



夏の一泊旅行 瀬戸大橋へ

- 名、毎週金曜午後 3 時から練習。
- 10月 24日 処遇職員研修会一泊研修に俵積田寮母参加する。
- 26日 秋の歩こう会、和泉市の国華園へ菊見物、全国菊花展を見物する、金剛寺へも拝観、23名参加。
- 11月 14日 秋の定期検診、泉佐野保健所まで徒歩で、全員検診を受ける。問診、血圧測定、レントゲン胸部撮影、検尿。
- 16日 誕生会開催、開館当時から施設運営にご協力頂いた細川氏を大阪よりご招待、ご夫婦で来賓として出席して頂く。春日町長生会役員会に広田氏出席。
- 22日 職員による館内塗装工事終了、屋上、4階洗濯干場防護サク、非常階段等の塗装に、日根ノ谷、吉田両指導員2週間大活躍。
- 12月 1日 消防本部より立入り検査、特に問題点なし。
- 2日 関西電気保安協会より館内電気系統点検。
- 7日 避難訓練実施、消防本部から2名立合い、支障なく年内2回目の自主訓練終る。
- 16日 施設交流、受念館忘年会を寮母2名見学。
- 17日 忘年会開催、受念館から調理師、寮母見学に来館。
- 21日 佐野高校演劇クラブより劇の慰問で生徒さん来館。
- 22日 冬至、ゆず風呂風景を市公報室が取材で来館、23日一般各紙の地方版に写真とともに掲載される。
- 24日 堺ロータリークラブより京都女子大生による影絵劇観賞に招待。



忘年会の献立



府立佐野高校演劇クラブの皆さん

受け、希望者13名堺市民会館で観賞する。

- 12月29日 入居者参加で餅つき大会、正月用鏡もち、雑煮用もちを作る。
31日 独居老人配食、恒例のおせち料理配達。

平成元年

- 1月1日 新年祝賀会。
7日 昭和天皇崩御、弔旗掲揚、「平成」に年号改まる。
13日 大阪新歌舞伎座へ「水戸黄門」観劇、入居者12人、寮母3名の引率で観劇。
17日 福岡県春日市福祉事務所の「老人向け配食事業」を施設長が見学「在宅老人給食サービス」開始に向け調査開始。
2月24日 「大喪の礼」正午より全員で黙禱。
25日 ボイラー室改修工事始まる。消防署指導によりカク壁工事等。
3月8日 春の食事会、犬鳴温泉「紀泉閣」へ、誕生会を兼ね食事会。
年2回の一泊旅行のうち春は全員参加出来る食事会に変更。
11日 兵庫県西脇市の軽費老人ホーム「いずみ寮」から施設見学、寮母4名来館。
16日 歌を楽しむ会の慰安会、カラオケスタジオ「シャンテ」借り切りカラオケ大会25名参加。
18日 市社協主催の独居老人配食会議に専務出席。
21日 お彼岸、明厳寺住職を招き入居者親族の法要を行う。
25日 「わてが作りまし展」へ出展。
ボイラー改修工事終了消防本部予防課の査察受け合格。



お正月用小餅を作るお手伝い



新年祝賀会

- 4月1日 園芸クラブ、書道クラブ合同慰安会で末広公園桜花見に出かける、幕の内弁当で花見楽しむ。
- 2日 職員研修旅行、宇奈月へ、館長他9名参加。
- 7日 近老協施設長会議に館長、吉田指導員出席。
- 25日 平成2年度「独居老人配食」開始、対象者51名を担当。
- 5月17日 各階トイレの改修工事、食堂エアコン取替え工事始まる。
- 22日 開館記念日プレゼント配布。
- 28日 第17回開館記念日、記念式典、昼食会と演芸会を楽しむ。
- 6月1日 南御堂老人福祉大会に踊りクラブ出演。
- 5日 新規事業「在宅老人給食サービス」聴講会開く、各町民生委員
市社協事務局長出席、利用者受付方法、利用者自己負担金額など話合う。
- 8日 滋賀県で開催の近老協研修会に施設長、専務他職員4名出席。
俵積田寮母勤続15年で表彰受ける。
- 22日 市社協主催の県外一泊研修で中津川市社協見学、吉田指導員参加。
- 7月4日 独居老人配食利用者から七夕色紙回収し、希望者を招待し飾り
つけする。
- 6日 夏の一泊旅行で京都見物、琵琶湖ホテル紅葉へ。
- 11日 七夕祭りの写真を配食先参加者に届ける、皆さん照れ乍らも大喜び。
- 23日 春日神社夏祭り、入居者老人会の協力で子供みこしにカキ氷を



書道・園芸クラブの花見 末広公園で



夏の一泊旅行で京都・金閣寺へ

200杯サービス。

- 8月2日 1～4階の廊下、階段、食堂床貼り替え工事開始、同安全対策のミーティング開く。
- 6日 同工事終了し一連の館改修工事終り、内外とも新装なる。
- 8日 「在宅老人給食サービス」について、各町民生委員各氏を招き第2回の連絡会議を開催。
- 9日 「在宅老人給食サービス」利用希望者募集、各民生委員の協力により町内回覧板を回す。
- 15日 終戦記念日黙禱。明厳寺住職を招き物故者法要。
- 22日 誕生会、市長来館し田中やえさん90才“卒寿の祝”に市長より記念品贈られる。
- 9月7日 「在宅老人給食サービス」利用申込み者を訪問し趣旨説明する。
- 14日 「在宅老人給食サービス」がスタートする。第一食目を直接利用者宅に配達、給食は毎週木・土曜の昼食、年末、年始約4週を休むのみ、祝祭日も配達することに決定。
- 15日 敬老の日家族会開催。
- 17日 近鉄百貨店で開催の「わてが作りまし展」に作品搬入、19日迄職員各1名販売員として出張。
- 20日 「在宅老人給食サービス」利用者宅に台風の見舞い、前田秀好さん感激される。浸水後の片付けを少し手伝う。
- 21日 春日町長生会から「敬老の日」プレゼント届く、一人当り梨3個ジュース2缶頂く。



田中八重さんが市長から卒寿の座布団贈られる



「給食サービス」スタートする 第1食目の献立て

- 9月27日 石川県で開催の全国老人福祉施設研修会に施設長、専務出席。
- 10月4日 消防本部職員立合いで避難訓練開催、訓練後講評。
- 10日 秋の食事会、全員参加で犬鳴山「紀泉閣」へ。松茸づくしのご馳走を味わう。
- 15日 町内会の町内クリーン作戦に日根ノ谷指導員、田中主任寮母参加する。
- 11月9日 秋の定期検診、囑託医梶野先生により検診を受ける。
- 10日 新築の給食センターで第1回「在宅老人給食サービス」食事会開催、毎月1回は利用者による会食を計画、第1回目はスキヤキパーティー開く。
- 21日 園芸クラブ、牛滝山、水間寺へ紅葉見物。
- 28日 高松市で開催の全国老人福祉施設研修会に施設長、専務出席。
- 12月7日 「在宅老人給食サービス」利用者の忘年会、給食センターで「カキ鍋」
- 16日 ホーム忘年会 正月用プレゼント配布、お楽しみ福引大会などを楽しむ。
- 27日 入居者、職員合同餅つき大会。
- 31日 おせち料理配食。

平成2年

- 1月1日 新年祝賀会 お雑煮で新年を祝う。
- 15日 新年会 恒例の福笑い大会 田中理事が出席。
- 2月3日 節分豆まき ホーム特製の巻ずしを配布。



紀泉閣にて 松茸づくしのご馳走を味わう



食後に踊りを楽しむ99才の北條さん（中央）

- 2月9日 浴室タイル貼替え工事で福祉センターの風呂を利用、入浴希望者を送迎。
- 25日 各階トイレ天井貼り替え工事。
- 3月3日 ひな祭り 桜もち配布。
- 7日 春日公園清掃奉仕、19名参加、久々に20名に迫る。
長生会加入希望者募集し名簿を春日町支部に提出。
- 10日 市共済、交通傷害保険加入。
- 13日 徳山市社協及びきずな園より「独居老人配食」見学に7名来館。
- 15日 誕生会を兼ね犬鳴山「紀泉閣」にて食事会、全員参加。
- 18日 なにわ演芸グループの演芸慰問。
- 28日 年度末大掃除、各階廊下、階段ワックスかけ。
- 4月3日 お花見歩こう会 レンタカー利用で永楽ダム、水間観音へ25名参加。
- 6日 各居室カーテン取替え。
- 7日 2年度「独居老人配食」開始について市社協にて会議。
- 12日 妙安寺より牡丹花見の招待あり、16名参加。
- 17日 保健所の集団検診、全員受ける。
- 18日 職員研修旅行 職員8名参加、広島県、山口県へ。
- 23日 独居老人配食 平成2年度分開始
市長生会演芸大会に5名参加。
- 26日 淡輪公園 つつじ見物に26名参加。
- 5月1日 給食、配食用に軽四輪貨物購入。



永楽ダム・桜の下でホーム特製弁当を味わう



淡輪公園のつつじ

- 5月5日 端午の節句 給食サービスにも柏もちをつける。
 17日 開館記念日プレゼント配布。
 21日 陵東館 デイケアセンターを施設長が見学。
 24日 南御堂より法話 34名聴講。
 27日 第18回開館記念日 祝賀会、宴会 午前中理事会。
 6月1日 南御堂老人福祉大会に踊りクラブ出演。
 6日 避難訓練 入居者43名、職員11名参加。
 春日公園清掃奉仕 22名参加。
 14日 近老協大会 田中寮母表彰受ける。
 28日 夏の一泊旅行 亀岡市湯の花温泉。
 30日 在宅老人給食利用者会食会。
 2階洗濯場を増設。
 7月2日 全国軽費老人ホーム連絡協議会、施設長出席。
 4日 市社協県外研修 金沢市社協見学 安田参加。
 福祉寮母研修 神戸しあわせの森見学、田中寮母出席。
 10日 るうてるホームより調理士3名「独居老人配食」を見学に来館。
 23日 春日神社夏祭り、子供みこしにカキ氷接待。
 8月1日 厨房大掃除。
 3日 処遇職員研修「悠々の園」見学、吉田出席。
 12日 泉佐野市チャリティーカラオケ大会に参加。
 13日 週休2日制についてミーティング。



開館記念日、各クラブの先生方に記念品贈呈

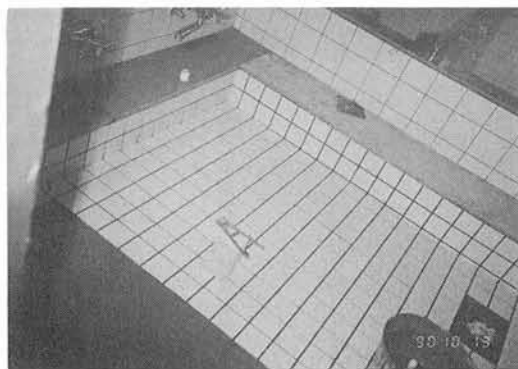


南御堂よりの法話を聴講

- 8月15日 お盆法要。
- 27日 職員成人病検診。
- 9月1日 庭避難通路に手すり取付工事。
- 6日 在宅老人給食サービス 100回を達成。
- 7日 市敬老大会に10名参加 市民会館。
- 12日 敬老の日プレゼント配布。
- 15日 敬老の日家族会
- 21日 春日町長生会より缶ジュース、梨のプレゼント届く。
- 25日 市より敬老祝金届く。
- 26日 国勢調査開始。
- 10月2日 国勢調査報告。
- 3日 中秋名月 萩、ススキ、月見だんご配布。
- 11日 国民健康保険証更新。
- 13日 月1回 職員週休2日制導入。
- 23日 法話 34名聴講。
- 30日 処遇職員県外研修、山田参加。
- 31日 秋の食事会、犬鳴山「紀泉閣」で開催。
- 11月4日 福祉事業職員共済会運動会 柿元、大又参加。
- 5日 各階廊下にガスファンヒーター設置。
- 7日 市サロンドボランティア 100回記念にて表彰受ける。
- 9日 府庁より監査。
- 12日 大じょう祭 紅白まんじゅう配布。



泉佐野市要覧に紹介された西座理事長宅の玄関

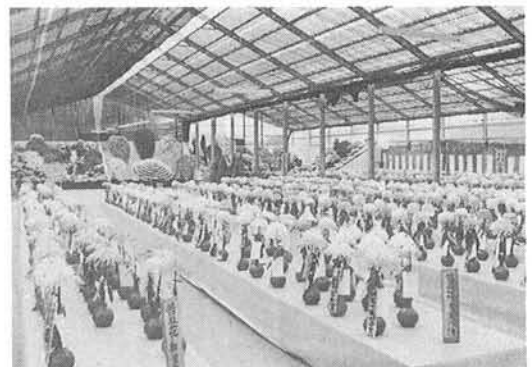


改装中の風呂場

- 11月14日 消防本部より立入り検査
 27日 秋の歩こう会 滝畑ダム、金剛寺、水間観音へ。
- 12月8日 忘年会 紅白歌合戦。
 13日 スタジオシャンテ借切りで「歌を楽しむ会」忘年カラオケ大会開催。
 27日 ホーム餅つき大会。
- 平成3年
- 1月1日 新年会 おせち料理配布し新年を祝う。
 15日 新年福笑い大会、新年会。
 25日 市サロンドボランティア総会に田中寮母出席。
- 2月2日 節分豆まき、ホーム特製巻きずし配布。
 20日 法話 33名聴講。
- 3月5日 平成3年度予算案作成。
 7日 春の食事会、料亭「峰楽」にて開催 40名参加。
 平成3年度交通傷害保険加入。
 15日 市公園緑地課よりいちょう他苗木寄贈あり、植樹。
 21日 春分の日、おはぎ配布。
 理事会開催。
- 4月3日 長生会花見、大井堰公園へ 5名参加。
 4日 お花見歩こう会 水間公園、国華園へ20名参加。
 16日 市社協主催独居老人配食連絡会議、館長、中沢出席。
 23日 市長生会演芸大会に6名参加。



天野山金剛寺参拝



国華園への出展作品

- 4月25日 法話 28名聴講。
- 5月19日 第19回開館記念祝賀会、三味線漫才…暁テルオ・ミツオ来演。
- 28日 各居室エアコン取付工事開始。
- 6月1日 夜間想定避難訓練、消火訓練。
- 3日 梅収穫、梅酒仕込み。
- 10日 梅ぼし漬込み。
- 27日 処遇職員研修、グリーンヒル淳風見学、吉田出席。
- 7月4日 エアコン取付に伴う電気使用量増の為変圧機つけ替え工事。
- 7日 長生会旅行 姫路方面へ2名参加。
- 16日 4階に乾燥機設置。
- 屋上貯水槽清掃。
- 22日 貝塚市役所職員12名施設見学に来館。
- 23日 春日神社夏祭り 子供会みこしにカキ氷接待。
- 8月15日 明厳寺住職来館 お盆法要、終戦記念日。
- 20日 法話27名聴講。
- 23日 居室カーテンレール取替え。
- 9月4日 北條さん長寿祝いで府知事より銀盃を授与。
- 市敬老大会に14名参加。
- 12日 敬老の日プレゼント配布。
- 15日 敬老の日「家族会」祝賀会、演芸会、各クラブ作品展。
- 20日 北條さん「白寿」祝い総理大臣より銀盃授与。
- 水野さん卒寿祝いで市長より座ぶとん授与。



白寿の記念品を前に市長さんと長寿を祝う
北條さん



市長から卒寿の座布団を贈られる水野さん

- 10月16日 市より敬老祝金支給 該当者に配布する。
- 26日 避難訓練、消火訓練。
- 30日 秋の食事会、犬鳴温泉「紀泉閣」43名参加。
- 11月1日 柿収穫、ほし柿用に入居者に配布する。
府庁より監査。
国民健康保険更新。
- 6日 秋の歩こう会、府立花の文化園 17名参加。
- 12日 消防署より立入り検査。
- 27日 職員研修旅行、28日まで。
- 28日 厨房クーラー取付工事。
- 12月4日 味噌仕込み。
- 7日 忘年会、紅白歌合戦。
- 12日 在宅老人給食利用者忘年会。
- 15日 春日町子供会より餅、ぜんざい寄贈あり。
- 21日 冬至、ゆず風呂。
- 24日 正月用プレゼント配布。
- 27日 もちつき。

平成4年

- 1月1日 新年祝賀会、おせち料理配布。
- 10日 防火訓練、防火シャッター試運転。
- 15日 新年祝賀福笑い大会。
- 28日 入居者集団検診、嘱託医梶野先生来館 血圧測定・検尿・問診



秋の食事会 犬鳴温泉「紀泉閣」で



秋の歩こう会 河内長野市「花の文化園」で

等受ける。

- 2月5日 園芸ボランティア2名来館、庭で焼きも大会開く。
- 11日 季刊「らいゆう」創立20周年記念号発行につき田中理事を招き第1回編集会議。
- 21日 行政監査庁より監査。
- 28日 防火管理者講習会で吉田指導員消防本部へ、煙体験、消火器使用実験、立入検査実習等の訓練受ける。体験実習訓練。
- 3月3日 ひな祭り、花ずし、白酒等で祝う、在宅老人給食サービス利用者にも届ける。皆さん大喜び。
- 11日 春の食事会「峰楽」で開催、参加者全員が徒歩で会場に向かう。46名(入院者を除く)、職員留守番1名を残し参加、会食、演芸会で入院者のために施設長が「帰って来いよ」を熱唱。
- 14日 市公園緑地課より植木苗寄贈受ける、椿、山もみじ等館庭園に植樹。
- 4月3日 職員ミーティングに於いて施設長より平成4年度指針表明。
- 4日 「在宅老人給食サービス」200回目配達を達成する。
- 7日 桜花見 水間観音拝観、水間公園でお弁当、永楽ダム一周散歩23名参加する。
- 13日 平成4年度「独居老人配食会議」市社協で開催、施設長、俵積田、竹澤栄養士出席。
- 16日 給食センター利用「在宅老人給食」利用者7名で会食、ホーラク焼きを楽しむ。



水間公園にて花見 桜は満開



給食センターでホーラク焼を楽しむ利用者

- 4月21日 府庁より招待受け「木ノ下大サーカス」見物、入居者2名と給食利用者2名、日根ノ谷指導員の運転で参加する。
- 5月6日 水道地下タンク、コーティング工事開始。
- 11日 春の集団検診 泉佐野保健所へ、検尿・血圧測定・胸部レントゲン撮影・問診を受ける。
- 4階サンルーム改装工事、床貼かえ、防水工事、照明設備増設
- 15日 開館記念日プレゼント配布。
- 24日 第20回開館記念日、午前中理事会に続き正午より祝賀式典、宴会、漫才の海原ハルカ・カナタさん来館。
- 6月5日 市よりの敬老祝金支給方法変更、口座振込みとなる。受給者口座番号を申請。
- 9日 屋上貯水タンク掃除、約30分間断水するも支障なし。
- 17日 近労協研修会、京都で開催「在宅福祉」について「独居老人配食」の現状を吉田指導員発表 第二部会。
- 20日 4階サンルームにエアコン2基取付け。
- 25日 自主避難訓練、午後より消火器使用により消火訓練。
- 7月1日 平成4年度「夏の一泊旅行」琵琶湖ホテル紅葉泊、三千院、平安神宮、東寺、銀閣寺を拝観、入居者15名、館長、専務他職員4名付添。
- 7日 七夕祭り、例年通り独居老人配食利用者も参加。
- 9日 全国軽費老人ホーム連絡協議会近畿ブロック総会に施設長出席。
- 23日 春日神社夏祭り、恒例のカキ氷接待。



夏の一泊旅行 京都・三千院にて



夏の一泊旅行 京都・銀閣寺にて

- 8月15日 終戦記念日、明厳寺住職招き物故者法要。
- 26日 市役所人権啓発課から「人権を考える」映画上映。
- 28日 市合同防災訓練参加で避難、消火、救出訓練。
- 31日 労働条件改定で4週6休制に、宿直明けは午前9時まで勤務。
- 9月2日 泉南府民センターから北條ツルエさん101才長寿祝いに来館。
泉佐野市福祉大会に9名参加。
- 3日 食堂、廊下、1～4階大掃除。
- 9日 春日公園清掃奉仕、13名参加。
- 11日 中秋の名月、萩、ススキ採集し給食利用者にも配布。
- 14日 理髪奉仕15名受ける。
- 15日 敬老の日家族会、宴会。
- 16日 長生会より敬老の日プレゼント届く。
- 23日 秋分の日、おはぎ配布。
- 24日 ホーム喫茶開店。
- 29日 三好さんの卒寿祝いに向江市長来館。
- 30日 危険物取扱い者講習会、吉田出席。
- 10月2日 職員成人病検診。
- 8日 処遇職員研修会、日根ノ谷出席。
- 12日 痴呆性老人介護研修、柿元出席。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 17日 季刊「らいゆう」発行。
- 20日 理髪奉仕14名受ける。



泉南府民センターから長寿の祝いを受ける



三好さん卒寿の祝いに向江市長より座布団贈られる

- 10月21日 園芸ボランティア来館で共同作業。
 23日 秋の食事会、犬鳴山「紀泉閣」に43名参加。
 28日 ホーム喫茶開催。
 30日 食堂テーブル席替え。
- 11月5日 在宅老人給食利用者、給食センターで会食、6名参加。
 6日 高知県「筆山寮」より見学者3名。
 10日 誕生会、消防署より立入り検査。
 12日 秋の歩こう会で浜寺公園、バラ園、国華園に21名参加。
 17日 理髪奉仕11名受ける。
 20日 集団指導者養成講座、根来出席。
 25日 ホーム喫茶開催。
- 12月1日 梶野医師来館で入居者定期検診。
 8日 味噌仕込み。
 9日 春日公園清掃奉仕。
 10日 忘年宴会、紅白歌合戦。
 14日 理髪奉仕14名受ける。
 15日 給食センターで在宅老人給食利用者忘年会、7名参加。
 20日 春日町子供会餅つきに参加。
 27日 餅つき大会。
 29日 門松飾り付け。
 31日 独居老人におせち料理配食。



秋の歩こう会で浜寺公園のバラ園



独居老人配食のおせち料理

平成5年

- 1月1日 新年祝賀会。
7日 七草がゆ。
11日 鏡開き、ぜんざい配布。
13日 春日公園清掃奉仕 12名参加。
14日 第2回医療講座。
15日 新年宴会、福笑い大会。
19日 理髪奉仕 13名受ける。
26日 独居老人配食再開。
2月3日 節分まめまき。
9日 第3小学校4～5年70名が慰問に来館。
10日 春日町公園清掃奉仕 16名。
11日 季刊「らいゆう」発行。
16日 誕生会。
18日 第3回医療講座。
23日 法話、35名聴講。
26日 食堂テーブル席替え。
3月3日 ひな祭り、白酒、ちらしずし。
9日 第4回医療講座、泉本医院長来館。
11日 市から植木苗寄贈され植樹。
16日 理髪奉仕 15名受ける。
17日 春の食事会、泉佐野市「峰楽」にて、45名参加。
20日 春分の日 おはぎ配布。



第3小学校から演劇の慰問



春日公園清掃に参加する入居者の皆さん

来友館ご案内



玄関の活け花台



1階ロビー



居室と2階への階段

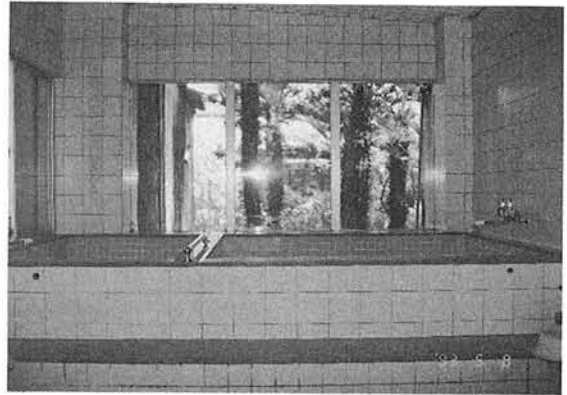


居室

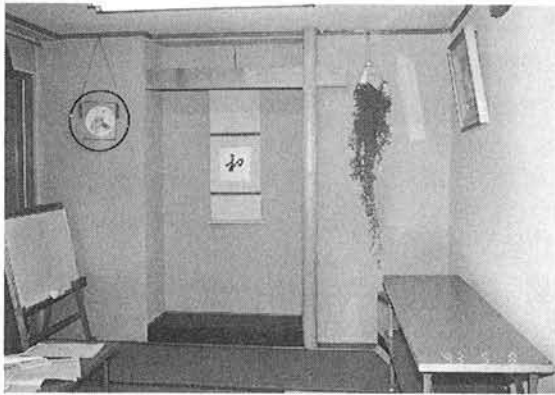
来友館ご案内



舞台からみた食堂



改装の浴室



娯楽室



清潔な各階トイレ

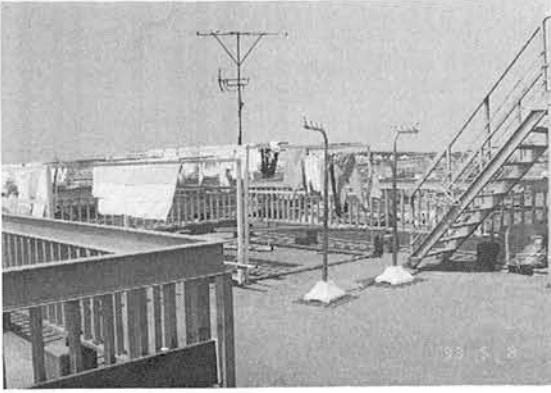


4階の自動洗濯機設置



展望休憩室

来友館ご案内



屋上の物干場



調理場は大忙し



看護婦による血圧測定



ボランティアの理髪奉仕



全職員によるミーティング



在宅老人給食センター

来友館の庭



大繁殖の池の鯉



白龍大明神



遊歩道がついている



鯉池と松ガ枝



庭には四季の花が



美しい竹林

開館満20周年記念式典

5月29日の開館20周年記念式典には大阪府、泉佐野市の福祉関係はじめ友好ホーム、役員、評議員、元職員、入居者代表など招待者37名が出席し、職員も参加して盛大に開催しました。



あいさつする
西座正蔵理事長

祝辞をのべる
原定雄泉佐野市収入役



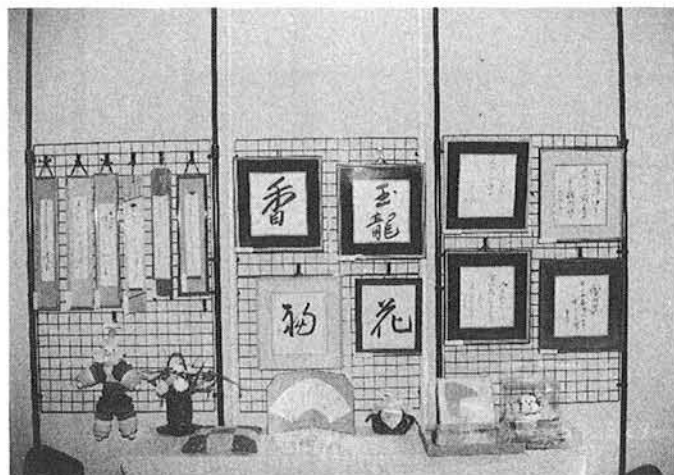
入居者代表
近藤妙子さんの祝辞

開館満20周年記念祝賀会



なごやかに歓談
する来賓

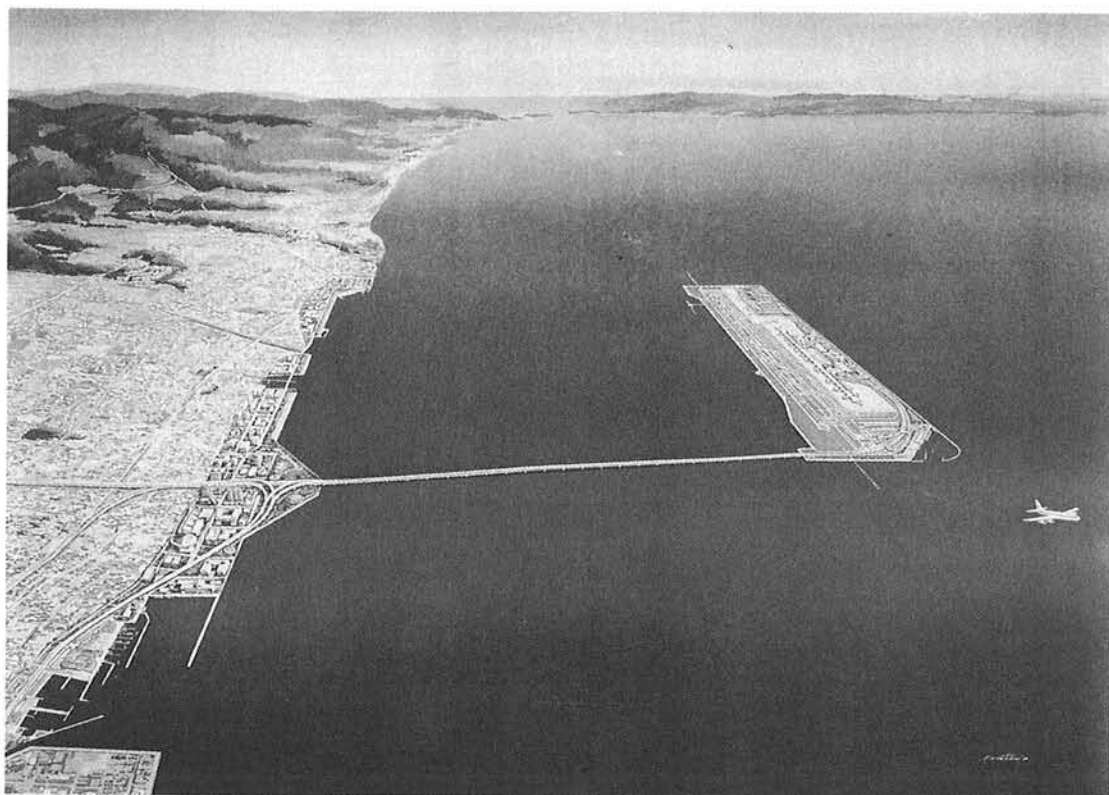
10月に102才を迎える
入居者の北條ツルエさん



会場に展示された俳句、
書道クラブ、手芸有志
の作品

関西国際空港

(平成6年9月開港予定)



泉州空港の第1期計画完成予想図

泉佐野市の本から転載



空港への進入路（来友館屋上から写す）



海を埋立て建設中の湾岸道路

来友館の概要

【設備規模】

敷地面積	1,629 m^2
建物構築	鉄筋コンクリート4階建て
延床面積	1,171.22 m^2
居室	50室 5帖押入付43室ほか
定員	50名
設備	食堂、娯楽室、サンルーム、医務室、浴室、作業室、事務室、給食センター。

【ホームでの生活】

食事	朝食7時30分、昼食12時、夕食5時
入浴	午後1時から(週4回)
健康診断	看護婦によるもの週1回 嘱託医によるもの月1回 保健所によるもの年2回

【クラブ活動】

俳句クラブ・踊りクラブ・民謡クラブ・書道クラブ・園芸クラブ
手芸クラブ・歌を楽しむ会

【恒例行事】

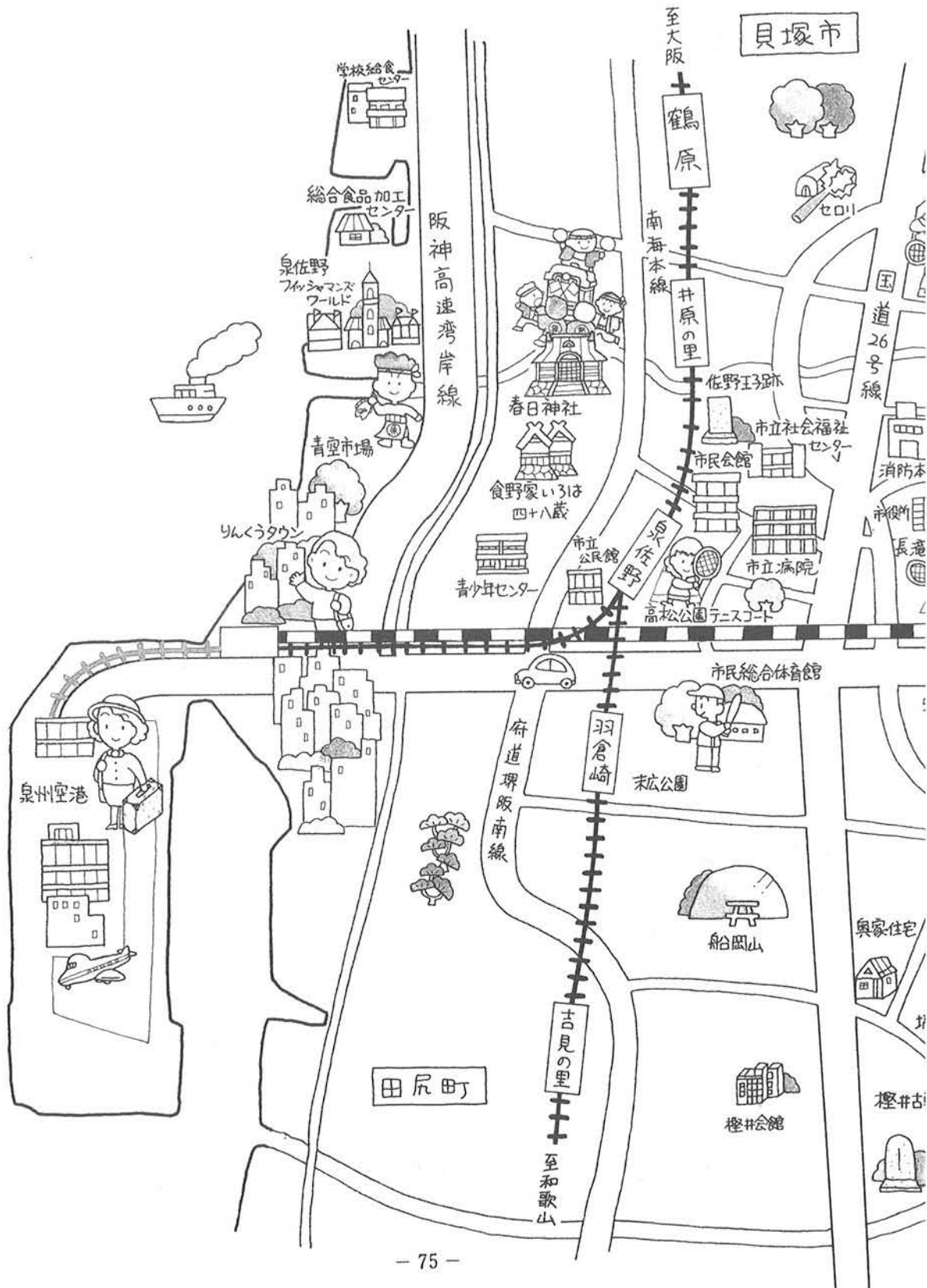
1月	新年祝賀会	7月	夏の一泊旅行
3月	春のお食事会	9月	敬老の日入居者家族会
4月	お花見歩こう会	10月	秋のピクニック
5月	開館記念祝賀会	12月	紅白歌合戦、忘年会

お誕生会は毎月開催しています。

【費用】

利用額は年金受給額によって異なりますから、お問い合わせ下さい。入居時の一時金等は不要です。

IZUMISANO

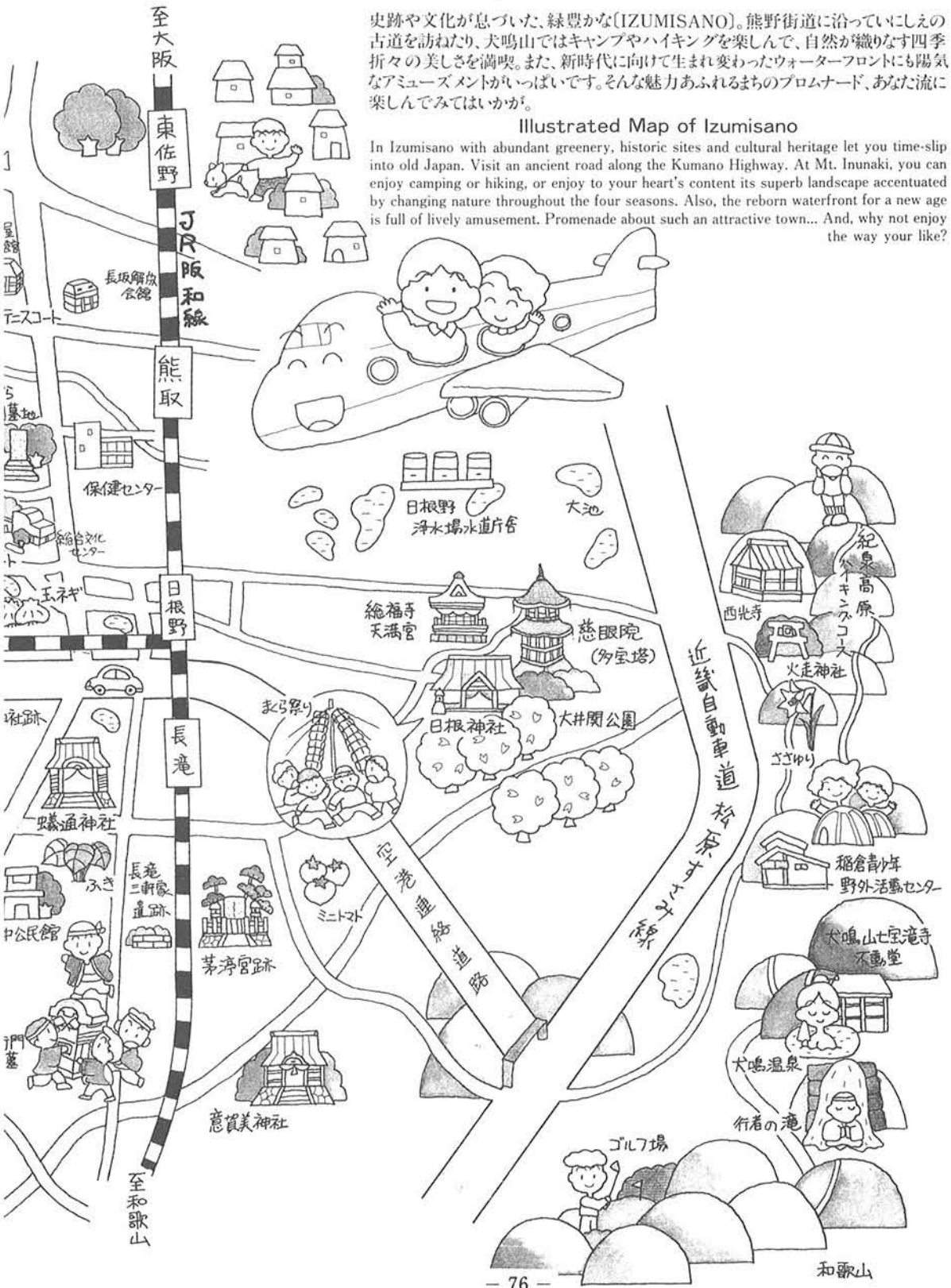


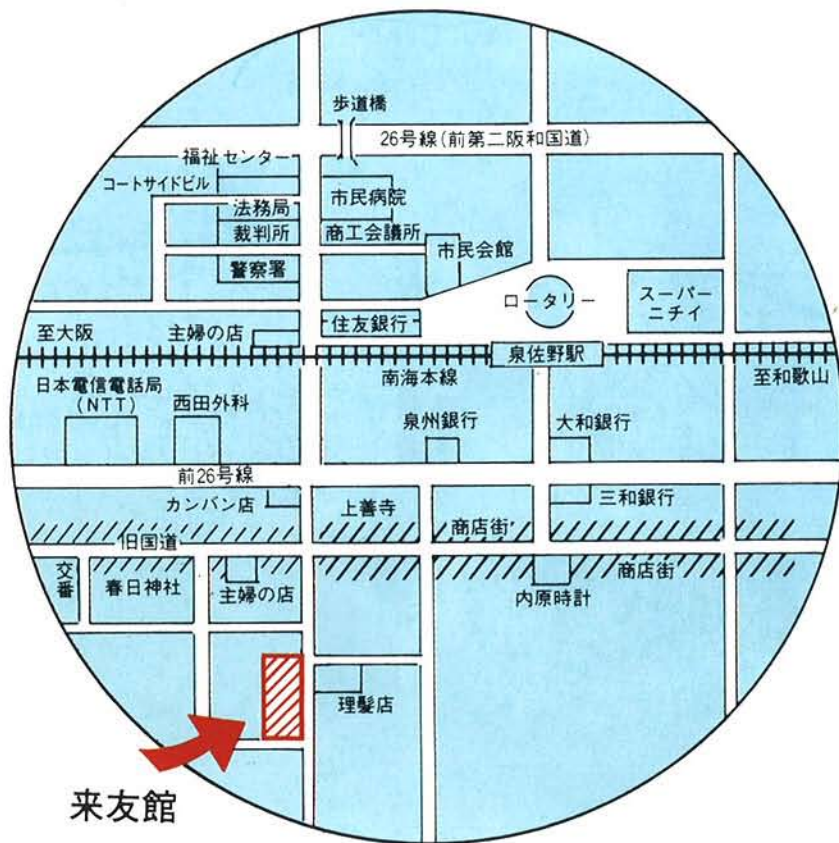
イラストマップ

史跡や文化が息づいた、緑豊かな[IZUMISANO]。熊野街道に沿って、こしへの古道を訪ねたり、犬鳴山ではキャンプやハイキングを楽しんで、自然が織りなす四季折々の美しさを満喫。また、新時代に向けて生まれ変わったウォーターフロントにも陽気なアミューズメントがいっぱいです。そんな魅力あふれるまちのプロムナード、あなた流に楽しんでみてはいかが。

Illustrated Map of Izumisano

In Izumisano with abundant greenery, historic sites and cultural heritage let you time-slip into old Japan. Visit an ancient road along the Kumano Highway. At Mt. Inunaki, you can enjoy camping or hiking, or enjoy to your heart's content its superb landscape accentuated by changing nature throughout the four seasons. Also, the reborn waterfront for a new age is full of lively amusement. Promenade about such an attractive town... And, why not enjoy the way you like?





社会福祉法人 **来友会**
 軽費老人ホーム **来友館**

〒598 大阪府泉佐野市春日町2-7
 TEL (0724) 62-1848
 FAX (0724) 64-0646